

昭和五十二年度

資料調査報告集

第五集

—谷田亀寿氏収集資料・岡嶋家追加資料—

鳥取県立博物館

正 誤 表

ページ	番号(行)	誤	→	正
6	198	合資金社		合資会社
11	405	尾崎富三郎		尾嶋富三郎
14	539		(付加)	一通
18	654	堅帳		堅帳
23	上21行	谷田亀寿市		谷田亀寿氏
"	下18"	生 在 者		生 存 者
27	309	御遊		被遊
"	316	文政十三年		文政十二年
28	392	外溝		外構
29	414	御操上		御繰上
30	468	会計		会計官
"	470		(付加)	一月十三日
31	519		(")	岡嶋勘之亟宛
32	551	荒尾駿河		荒尾但馬
	599	森重太郎		森重郎
36	上14行	延べた		述べた

序にかえて

「資料調査報告書」第五集を発行することとなりました。第五集では、昭和五十一年度に収集した「谷田亀寿氏収集資料」と「岡嶋家資料追加分」の調査を収集しました。

「谷田亀寿氏収集文書」は、故谷田亀寿氏が多年にわたる郷土史研究の間に収集されたもので、大塚章造関係資料等幕末の農政を知る上で貴重な史料も含まれています。当館では、谷田氏の多年の郷土史研究と文化財保護への努力を考え、その収集資料の公的保存を遺族谷田寿郎氏に申し出、その理解を得て、当館が収蔵することになった次第です。

「岡嶋家資料」は「資料調査報告書第二集」(昭和四十九年度刊)に収録した岡嶋家に伝わる資料の一部で、四十八年以降に発見された資料を当館が譲り受けたものであります。この中には、既に散逸したと思われる「因府年表」の草稿である「因藩野史」、「因府年略史」の著者自筆本が含まれていて「岡嶋家資料」はより一層充実したものとなりました。

ここに、当館の事業に深い御理解をいただき、資料収集に快よく御協力くださった谷田寿郎氏・山本登志子氏に心からお礼を申しあげる次第です。

昭和五十三年三月

鳥取県立博物館

館長 前田 寿男

谷田亀寿氏収集資料の調査について

谷田亀寿氏収集資料は、谷田氏の郷土研究のみならず数多くの研究者に利用されている。戦前では京都大学の三橋時雄教授、戦後では鳥取大学の山中寿夫教授等はその代表であろう。しかし、最も多く利用し、紹介しているのは、「宇野村郷土誌」(昭和十二年刊・昭和五十一年一月羽合町宇野地区公民館復刻)や「羽合町史前編」(昭和四十二年九月刊)である。両書とも谷田氏著作といつてよいほど氏が中心になって編さんされたものであるから当然の結果であるともいえる。

「羽合町史」後編の編さん途中、四十七年谷田氏が急逝された。個人の長年にわたる収集ということもあって、正確な目録もなく、当人以外にはくわしい事情もわからないことも多かったであろう。遺族が整理された時にもずいぶん苦労されたようである。「羽合町史前編」に谷田氏蔵として紹介されている「安政七年大塚章造日記」が、当館の調査時には見えなかったのも、そのようなむを得ない事情によつたものである。

五十一年春から夏にかけて当館で二度調査を実施したが、それに先だって「鳥取県史」近世資料編「収集史料の調査のため、谷田氏収集資料の一部が鳥取県史編さん室によって調査されていた。

「谷田亀寿氏収集資料」は、六十年におよぶ郷土史研究の過程で収集されただけに内容も多岐にわたるが、文書・記録の出所、伝来もまちまちであつて、これを体系的・系統的に整理分類することはむづかしい。しかし、関係する地域は、一、二群の史料を除いてほぼ旧河村郡に集中している。そこで今回の整理では、できるかぎり、文書・古記録の出所を推定し、家別けの整理を試みることにした。その上で、内容・年代を考慮した。しかし、どうにも伝来・出所のはっきりしない史料も多くあつたし、倉吉勸業社関係資料については内容で一群史料として一括した。尚、谷田氏および、関係する主な家については後で簡単に解説する。

谷田龜壽氏収集文書仮目録

1 伯耆国河村郡宇野村(羽合町宇野) 分尾崎関係資料

- (番号) (史料名) (作製者・名宛人・内容) (形態) (数量)
- 1 石脇村作扶持米拝借願 河村郡石脇村村中・庄屋平兵衛 尾崎三右衛門宛 文政九年正月 一通
- 2 白石村作扶持米拝借願 河村郡白石村中・組頭年行司亦右衛門 文政九年正月 一通
- 3 園村作扶持米拝借願 河村郡園村村中・庄屋分左衛門 文政九年正月 一通
- 4 宇野村作扶持米拝借願 河村郡宇野村村中・組頭幸七・与平・伊三郎・同年行司吉兵衛・庄屋寛藏 尾崎惠助宛 安政六年正月 一通
- 5 石脇村作扶持米拝借願 河村郡石脇村村中・組頭年行司文兵衛・庄屋新兵衛 尾崎惠助宛 安政六年正月 三通
- 6 小浜村作扶持米拝借願 河村郡小浜村村中・組頭年行司源三郎 尾崎惠助宛 安政六年正月 四通
- 7 野方村作扶持米拝借願 河村郡野方村村中・組頭文兵衛・庄屋藤津村吉兵衛 尾崎惠助宛 安政六年正月 一通
- 8 白石村作扶持米拝借願 河村郡白石村中・組頭亦左衛門 庄屋藤津村吉兵衛 尾崎惠助宛 安政六年正月 一通
- 9 宮内村作扶持米拝借願 河村郡宮内村村中・組頭善七 庄屋藤津村吉兵衛 戸崎久右衛門宛 (安政六年正月) 二通
- 10 藤津村作扶持米拝借願 河村郡藤津村村中・組頭佐之右衛門・年行司善治郎 庄屋藤津村吉兵衛 尾崎惠助宛 (安政六年正月) 一通
- 11 地方村作扶持米拝借願 河村郡地方村村中・組頭庄次郎・年行司清五郎・庄屋原村治助 尾崎惠助宛 安政六年正月 三通
- 12 宇谷村作扶持米拝借願 河村郡宇谷村村中・組頭龜三郎・同年行司又八・庄屋寛藏 尾崎惠助宛 安政六年正月 一通
- 13 高辻村作扶持米拝借願 河村郡高辻村村中・組頭七郎兵衛・庄屋片岡村久右衛門 戸崎久右衛門宛 安政六年正月 一通
- 14 村々飯米代銀請取帳 尾崎惠助宛 安政六年四月 横帳 一冊
- 15 宇野村御救米願 宇野村組頭・年行司・庄屋 尾崎惠助宛 万延元年九月 一通
- 16 地方村作扶持米願 河村郡地方村組頭庄次郎・清五郎・庄屋原村治助 尾崎惠助宛 万延元年十一月 二通
- 17 飯米代銀請取通 椿岩助 尾崎惠助宛 万延二年三月 一通
- 18 飯米拝借手形 借主小浜村庄屋源三郎 尾崎惠助宛 慶応二年八月 一通
- 19 飯米拝借手形 石脇村組頭辰三郎・庄屋治三郎 尾崎惠助宛 慶応三年八月 一通
- 20 飯米代銀支払帳(宇野・宇谷・地方・石脇村) 明治四年三月 一通
- 21 根帳面放願(藤津村伊左衛門娘よみ、宇谷村弥平妻ニ付) 藤津村庄屋吉兵衛 尾崎惠助宛 安政七年二月 一通
- 22 根帳面請願(引地村覚三郎兄忠次郎、当村長右衛門養子ニ貫請候ニ付) 白石村庄屋龜右衛門 尾崎惠助宛 安政七年正月 一通
- 23 根帳面放願(残欠) 石脇村小頭源右衛門・組頭辰三郎・庄屋治三郎 尾崎惠助宛 安政七年二月 一通
- 24 根帳面放願(当村常右衛門娘はな、氣多郡井手村清助妻ニ貫申ニ付) 簡地村庄屋茂左衛門 尾崎惠助宛 安政七年二月 一通
- 25 根帳面放願(当村徳三郎妹とよ三明寺村) 次郎妻ニ、長藏姉セツ井村伝右衛門妻ニ、安之助一家三人氣多郡光本村藤十郎方ニ付) 宇谷村庄屋龜三郎 尾崎惠助宛 慶応三年三月 三通
- 26 河村郡長瀬村造酒書上帳 長瀬村酒屋文右衛門・庄屋重郎兵衛・惠助 尾崎三右衛門宛 天保八年十一月 堅帳 三冊
- 27 河村郡上浅津村造酒書上帳 太吉・庄屋与三右衛門 尾崎三右衛門宛 天保九年正月 堅帳 一冊
- 28 (漆原村他国者住居者ニ付答書) 漆原村庄屋太平 尾崎惠助

- 29 重吉半舎鉢屋賄銀受取状 大庄屋 宇野村宛 未八月 一通
- 30 盜難届 河村郡北方村清右衛門・組頭長右衛門・庄屋原村治助 尾崎惠助宛 安政六年六月 一通
- 31 盜難届返却願 河村郡北方村清右衛門・庄屋治助 尾崎惠助宛 安政六年九月 一通
- 32 (宮内村夫役書上) 上浅津村只三郎 分尾崎宛 未八月 一通
- 33 極内々聞合帳控(不人氣悪事聞取) 中庄屋尾崎惠助宛 元治元年五月 横帳 一冊
- 34 中将様御出馬ニ付御書類并差図記録 芦川源次郎 尾崎清右衛門宛 元治元年十一月 横帳 一冊
- 35 村々所持分田畑畝高引合帳 尾崎惠助宛 (年月不明) 横帳 一冊
- 36 構分ヶ讓替願控(長江村を秋田兵蔵より椿芳蔵へ、大原・栗尾村を椿芳蔵より山本治右衛門へ) 尾崎清右衛門代尾崎喜右衛門 已正月 一通
- 37 (石脇村立憲報告書) 石脇村庄屋清三郎 大庄屋宛 (年月不明) 一通
- 38 河村郡簡地村御改正組合長 真屋尾崎 慶応二年五月 堅帳 一冊
- 39 河村郡原村組頭忠八諸所御普請願書 河村郡原村組頭忠八 尾崎惠助宛 慶応四年正月 一通
- 40 田中様他御宿諸入費書上 (年月不明) 一通
- 41 人足并駄馬手形 尾崎惠助 (年月不明) 一通
- 42 借用銀返済定書控 宮内村忠右衛門他 尾崎喜右衛門宛 明治二年 一通
- 43 申凶年御触書写し 分尾崎 明治二年十二月 横帳 一冊
- 44 (山林入会についての懸合状) 河村郡久留・水下・長瀬各村庄屋 宇野村庄屋尾崎源六宛 (年月不明) 十月 一通
- 45 杭欄増築代種穀渡帳 北方・地方村 明治四年二月 横帳 一冊
- 46 大庄屋直触申付書 民政局 尾崎源六宛 明治四年八月 横帳 一冊
- 47 河村郡宇野村諸職人諸商人御免札願帳 明治四年八月 横帳 一冊
- 48 河村郡諸職人諸商人御免札渡帳 村長尾崎源六 明治五年四月 横帳 一冊
- 49 盜難品返却願 宇野村寺脇伝七 大庄屋尾崎文五郎宛 明治四年十二月 一通
- 50 出府御用帳 尾崎源六 明治五年二月・四月 横帳 一冊
- 51 宇野村越通座残物調帳 根取方尾崎源六 明治五年四月 横帳 一冊
- 52 (河村郡泊宿越通座残物報告書) (年月不明) 一通
- 53 宇野村未開発畑再見分請書 村長尾崎源六 明治五年四月 一通
- 54 (諸報告依頼状) 郡長尾崎文五郎 宇野村長尾崎源六宛 (年月不明) 六月 一通
- 55 船網税金取立速書 橋津御蔵所 宇野村長尾崎源六宛 (年月不明) 六月 一通
- 56 職務御免願控 宇野村長尾崎源六 鳥取県庁宛 明治五年六月 一通
- 57 (越通座関係覚書) 尾崎源六 (年月不明) 八月 一通
- 58 出府御猶子願控 尾崎源六 三吉鳥取県権令宛 明治七年三月 一通
- 59 河村郡宇野村建書書下書 尾崎源六 明治七年七月 一通
- 60 地券方調方ニ付御談事次第 地券懸り頭取尾崎喜惣治・遠藤吉平 (年月不明) 一綴
- 61 島根県第一大区第一小区惣代辞令 島根県第九六区会所 明治十一年四月 二通
- 62 代議人御免願書控 尾崎源六 (年月不明) 一通
- 63 勅使細川村御通行の御村上源蔵自書ニ付御達書写 勅使御守衛(長州・薩州) 村上源蔵跡宛 慶応四年二月 一通
- 64 西園寺三位中将殿御通行諸入用帳 泊り割場 慶応四年二月 横帳 一冊
- 65 西園寺三位中将殿御通行入用品々買上物仕出帳 泊村 慶応四年二月 横帳 一冊
- 66 西園寺様御通行所々注文写し 泊り割場 慶応四年二月 横帳 一冊
- 67 西園寺様御通行中人夫飯米渡村別出帳 泊り割場 慶応四年二月 横帳 一冊
- 68 西園寺殿御通行手伝人飯数書出帳 泊村割場 慶応四年二月 横帳 一冊
- 69 西園寺三位中将殿御通行奇物品々紛失物仕出し帳并余物品々差別帳 泊り村 慶応四年二月 横帳 一冊
- 70 西園寺三位中将殿諸人用辻帳 泊村 尾崎惠助宛 慶応四年二月 横帳 一冊
- 71 新駕籠仕出并古駕籠繕入用書上帳控 慶応四年二月 横帳 一冊
- 72 泊り村割場直人遣ひ賃米渡し帳控 慶応四年二月 横帳 一冊
- 73 御通行割場并諸道具宿人夫宿番賃心附入用書上帳上り扣へ 泊村

74 御通行割場手伝人飯亭主賃銀賄書上帳控 泊村 慶応四年二月 横帳 一冊
75 給仕人子供并料理人賄賃銀書上帳控 泊村 慶応四年四月 横帳 一冊
76 御通行ニ附泊村宿継人夫飯米渡帳扣 慶応四年四月 横帳 一冊
77 西園寺殿御通行諸入用品々書上願帳 泊り村 慶応四年四月 横帳 一冊
78 御通行ニ付荒尾様長州中軍様永井様御往返之御割場入用書上帳 慶応四年四月 横帳 一冊
79 西園寺殿檢合(合人案内者)御引鼻引入別青屋行諸入用書上帳 慶応四年四月 横帳 一冊
80 西園寺殿御通行宇野村割場諸入用書上帳 慶応四年四月 横帳 一冊
81 西園寺殿御通行御小休賄并ニ入用物書上帳 泊村 慶応四年四月 横帳 一冊
82 西園寺殿御通行御小休御賄用意御不用物書上帳控 泊村 慶応四年四月 横帳 一冊
83 西園寺殿御通行之節泊割場品々紛失物損物書上帳控 慶応四年四月 横帳 一冊
84 泊村御通行割場諸道具宿人夫宿并番賃心附入用書上帳 泊村控 慶応四年四月 横帳 一冊
85 (山陰鎮撫使についての仰出写) 慶応四年四月 横帳 一冊
86 西園寺様御通行諸入用御銀御払帳 泊村 明治元年十一月 横帳 二冊
87 西園寺様御通行之節新駕籠泊村ニて仕立気多都入相渡候代銀御帳 明治元年分泊村 本尾崎控 慶応二年六月 横帳 一冊
88 知行所物成米通 河村郡白石村 羽原周輔 白石村庄屋弥左衛門宛 安政六年十月 横帳 一冊
89 知行所物成米通 河村郡久見村 北代又兵衛 久見村株庄屋嘉一郎宛 安政六年十月 横帳 一冊
90 知行所物成米通 河村郡白石村 羽原周輔 白石村庄屋弥左衛門宛 万延元年十月 横帳 一冊
91 知行所物成米通 河村郡原村 吉村又兵衛 河村郡原村年行司 七郎右衛門 万延元年十月 横帳 一冊
92 (給所物成并庄屋給覚書) 福永・北方・藤津・野方・宇谷村(年月不明) 五通 横帳 二冊

93 知行所物成米通 河村郡原村 吉村又兵衛 河村郡原村庄屋治助宛 慶応元年十月 横帳 二冊
94 知行所物成米通 河村郡原村 吉村又兵衛 原村庄屋治助宛 慶応二年十月 横帳 一冊
95 村々御納所御藏通写し 尾崎惠助構 万延元年九月 横帳 一冊
96 村々御納所米覚帳 庄屋小鹿谷村惣兵衛配下 万延元年十月 横帳 一冊
97 村々御納所御藏通写 尾崎惠助構 文久元年九月 横帳 一冊
98 河村郡村々御納不足銀取立過不足算用帳 文久二年十二月 横帳 一冊
99 構内村々御納所米橋津御藏通写 尾崎惠助構 元治元年十月 横帳 一冊
100 構内村々御納所米橋津御藏通写 中庄屋尾崎惠助構 慶応元年十月 横帳 一冊
101 構内村々御納所米橋津御藏通写 尾崎惠助構 慶応二年十月 横帳 一冊
102 河村郡品々御勘定物仕出し帳 文久元年十二月 横帳 一冊
103 河村郡簡地村他当毛荒御損米帳 慶応二年八月 横帳 一冊
104 (北方村御勘定立仕出覚) 北方村庄屋清右衛門 尾崎惠助宛 丑三月 横帳 一冊
105 (北方村大豆高報告覚) 北方村庄屋長右衛門 分尾崎宛 丑十一月 横帳 二冊
106 (漆原村大豆高報告覚) 漆原村庄屋太平 尾崎惠助宛 寅十二月 横帳 一冊
107 宇野村取立銀受取書 大庄屋 宇野村庄屋宛 申正月 横帳 一冊
108 (米上納之覚) 庄屋覚蔵 分尾崎宛 (年月不明) 十一月 横帳 一冊
109 (石脇村他取納覚) 石脇村庄屋治三郎他 分尾崎宛 丑十一月他 横帳 四冊
110 米御買入願 園村庄屋喜重郎 尾崎宛 寅十一月 横帳 一冊
111 (米買入覚) 石脇村庄屋治三郎 尾崎宛 (年月不明) 十一月 横帳 二冊
112 請込勘定手形 尾崎惠助 山本治右衛門 慶応四年十月 横帳 二冊
113 野方村御勘定御取済し願 野方村庄屋文平 尾崎惠助宛(年月不明) 十一月 横帳 一冊
114 (方地村御勘定御取済し願) 方地村庄屋久治郎 真屋尾崎宛(年月不明) 正月 横帳 一冊
115 米請込手形 尾崎源六 明治二年十二月 横帳 二冊
116 構内村々御納所米御藏通写 分尾崎 明治二年十二月 横帳 一冊
117 明治三年歳田畑仕切落控帳 宇野・宇谷・久留・長瀬・下浅津 明治三年 横帳 二冊
118 (宇野村御勘定不足内金受取書) 大庄屋尾崎文五郎 明治三年 横帳 二冊

157 伯耆国宇谷村灘え異国船漂着ノ控 文久二年正月 堅帳 一冊
 158 宇野村灘漂着届写 宇野村尾崎源六 泊り御番所宛 未七月 一通
 159 蚕種生糸製造壳帳 尾崎源六 明治六年 横帳 一冊
 160 八橋郡桑苗検査之次第御届書 久米・河村郡蚕種世話役取縮兼尾崎源六 (明治七年) 戊四月 一通
 雑税掛宛
 161 桑実代銀送り状 長和田村庄屋久三郎 分尾崎宛 (年不明) 五月 一通
 162 桑実代銀送り状 小鹿谷村庄屋壽九郎 尾崎宛 (年不明) 六月 一通
 163 宇野村御出張御医御宿人用書上帳 明治四年七月 横帳 一冊
 164 御薬頂戴之人別書上げ 御出張上村様 (年月不明) 一通
 165 (投薬覚書) (年月不明) 一通
 166 (諸薬備覚書) (年月不明) 一通
 167 (薬礼覚書) (年月不明) 一通
 168 (流行病人別書上) (年月不明) 一通
 169 薬覚帳 明治四年七月 横帳 一冊
 170 宇野村御薬頂戴人別控 (年月不明) 一通
 171 宇野村病者え御薬調与服数書上帳 田中順全 明治四年七月・八月 横帳 一冊
 172 河村郡宇野村流行病ニ付御薬頂戴人別書上帳 庄屋尾崎源六 明治四年九月 堅帳 一冊
 尾崎文五郎宛 明治四年十一月 堅帳 一冊
 173 宇野村御差向医師贈銀人用書上帳 明治四年十一月 堅帳 一冊
 174 一ノ宮大明神御神鉢莊殿願控 長江村村役人 戸崎文之右衛門 嘉永七年十一月 一通
 尾崎清右衛門宛
 175 一ノ宮大明神御神鉢莊殿願控 長江村村役人 戸崎文之右衛門 安政二年九月 一通
 一ノ宮大明神屋根葺替願 宮内村組頭・藤津村庄屋吉兵衛 安政六年八月 一通
 尾崎忠助宛
 177 一ノ宮大明神屋根葺替湯立清ノ願 宮内村年行司定七・宇野村 安政七年三月 一通
 庄屋覚蔵宛・奥書尾崎忠助宛

201 書論(写本) 享和元年 一冊

書 状

○尾崎忠助(源六)宛諸家書状
 202 尾崎清右衛門書状 (在御用場御勘定、上方の形勢と荒尾駿河様御出陣・和田様立の事) 正月 一通
 203 同右 (芦川源次郎様立ニ付迎えの事他) 八月 一通
 204 同右 (但馬様長瀬御止宿・道筋御小休ニ付掃除致す事) 四月 一通
 205 同右 (出府伺の事) 五月 一通
 206 同右 (式村中取納御改手合之義、山論御吟味役当所御止宿の事) 十一月 一通
 207 同右 (覚庵寺様御上京ニ付) 二月 一通
 208 同右 (三沢清之進様給所米売買ニ付) 十一月 一通
 209 同右 (大庄屋御勘定銀の事他) 七月 一通
 210 同右 (田畑村穢多無心米願取扱いの事) 三月 一通
 211 同右 (式村心付銀割渡し帳、粥米願差出の事) 正月 一通
 212 同右 (北方村三歩貸銀にて皆済の事) 三月 一通
 213 同右 (御追放申渡し立退かせる事) 五月 一通
 214 同右 (大工・諸職人作料増の事) 十月 一通
 215 同右 (山論歳許・御歳預けの事) 三月 一通
 216 同右 (藤津村覚兵衛新田願場の事) 三月 一通
 217 同右 (園村御勘定・金相場の事) 正月 一通
 218 同右 (収納石数違イニ付) (年月不明) 一通
 219 同右 (泊り村御勘定間違イニ付) 正月 一通
 220 同右 (御年貢取立銀御郡役所へ持参の事) 正月 一通
 221 同右 (長瀬村与左衛門根帳切・泊り村たつ行衛不知達し書・藤津村河右衛門根帳切御届の事) 五月 一通
 222 同右 (宇谷村庄助行方不知の事) 七月 一通
 223 同右 (血判御受取・長瀬村与左衛門根帳切の事) 六月 一通
 224 尾崎清右衛門書状 (倉吉御支配切手・取納改に松尾才右衛門様に出の事) 十一月 一通
 225 同右 (剣術願の事他) 十一月 一通
 226 同右 (河村郡歩兵姫路征伐お供被仰付ニ付) 五月 一通
 227 同右 (貴家退役願の事) 正月 一通
 228 同右 (原村悪病流行の事) 七月 一通
 229 同右 () 五月 一通
 230 同右 () 正月 一通
 231 同右 () 七月 一通
 232 同右 () (年月不明) 四通
 233 河原六兵衛書状 (長瀬村より宇野村への払廻米の事) 十一月 一通
 234 漆原村庄屋太平書状 (取納不足銀払お願イニ付) 十一月 一通
 235 同右 (漆原村取納米町仕り度) 十月 一通
 236 簡地村次助書状 (簡地村御廻帳面引合ニ付) 七月 一通
 237 北尾甚口書状 (八ノ屋村給所米売渡代銀内払ニ付) 十一月 一通
 238 長伝寺書状 (来客接待用品無心伺ニ付) 四月 一通
 239 新田村弥兵衛書状 () 卯三月 一通
 240 塗師屋甚七書状 (家業(宿)譲り渡し度) 九月 一通
 241 桑蔵書状 () 十一月 一通
 242 ごぞんじよりの書状(藤津・方地・漆原・白石・北方等別米不足・長瀬村勘定間違イ・去年御借上ケ年賦銀の事) 正月 一通
 243 尾崎文五郎書状 (田中中属出張・民区費不都合の事他) 三月 一通
 244 同右 (退役再願の事) 二月 一通
 245 同右 (上浅津村山本又蔵贈銀の事他) 二月 一通
 246 同右 (下地米売りの事他) 四月 一通
 247 同右 (不時下地懸り・御家改の事) 十一月 一通
 248 同右 (口座入費・当春勘定相場・退役再願の事他) 三月 一通
 249 同右 (地利米相場老割下ケ相定の事) 二月 一通
 250 同右 (松尾松三郎上納石代金米見込にて貸渡す唯ニ附) 三月 一通

251 尾崎文五郎書狀 (高辻・別所よりの宛口米船にて混り候哉一俵不足ニ付) 一月一通

252 同右 (旧宛口米以下之分引取ニ付) 四月一通

253 同右 (御拝借米割合・御用物即日届の事) 正月一通

254 同右 (不時新仕法借入金返済の事他) 四月一通

255 同右 (橋津村木成屋新五郎久米郡諸職人賄銀請取の事他) 正月一通

256 同右 (裁判証書・久米郡石代金御取立・勝福寺万願会の事他) 五月一通

257 同右 (宇野村御趣向座干身帆橋津座へ相廻す事) 三月一通

258 同右 (岡本清九郎差向之義延期の事) 五月一通

259 同右 (三沢甫懸りの儀ニ付裁判所へ御苦勞の事) 八月一通

260 同右 (倉吉の大火の事他) 二月一通

261 同右 (常盤屋と本戸崎懸懸の儀他) 三月一通

262 同右 (山林原野調の事他) 八月一通

263 同右 (式村おかね儀真宗寺逗留の事) 二月一通

264 同右 (年月不明) 四月一通

265 秋田兵藏書狀 (光吉村儀左衛門粹忠藏式村山林松枝盜取一件ニ付極貧の故過料助弁の事) 三月一通

266 同右 (光吉村と式村懸合差延の事) 十月一通

267 同右 (光吉村之者松根伐致し一件ニ付、式村御締合過料半額位ニ願度) 十月一通

268 同右 (式村山林之内光吉村人別根伐致候を鉢屋差押え過料銀取立ニ付、難決人の故成丈ケ御勘弁被下度) 十月一通

269 同右 (光吉村と式村御懸合一条ニ付過料百五拾匁近日お廻申す事) 十一月一通

270 同右 (光吉村と式村一条ニ付以前之通御応命の程願度) 十一月一通

271 秋田弥一郎書狀 (橋津官庫下ケ願ニ付) 三月一通

272 長瀬村庄屋邦藏書狀 (干身貝帆御廻の事他) 二月他三通

273 同右 (長瀬御趣向座より宇野同へ御用立銀お廻しの事) 四月一通

274 同右 (生貝相場・干身御内貸銀の事) 三月一通

275 芳藏書狀 (船造替・新造願ニ付) 六月一通

276 小倉史生書狀 (願書奥書様式の事) 五月一通

277 尾崎喜惣治書狀 (年月不明) 五月一通

278 同右 (一ノ宮随神門割合銀ニ付懸合) 三月一通

279 長江村権三郎書狀 (久米郡穴窪村取出切手の事) 正月一通

280 尾崎純一郎書狀 (泊旧学校の事) 三月一通

281 同右 (又八借金支払、取立向不手際の際) 正月一通

282 同右 (抵当米一件ニ付懸合の事) 五月一通

283 順藏書狀 (浜馴合の儀) 四月一通

284 恒三郎書狀 (泊座まで出沓の事) 六月一通

285 林達馬書狀 (質銀不明懸合の儀) 四月一通

286 山本治八郎書狀 (帆立貝干実上納ニ付督促) 六月一通

287 片山文次郎書狀 (船帳ニ書損有之ニ付相認メの上差出す事) 十二月一通

288 古川王八郎書狀 (伊平貝諸入費不払の儀出県依頼御断り) 二月一通

289 三枝礼二書狀 (泊旧学校買戻し度廉価にて御譲りの事) 十二月一通

290 同右 (帆立貝袋の事他) 三月一通

291 尾崎仁三郎書狀 (桑苗書上帳の事) 四月一通

292 中井甚六書狀 (養蚕御印紙願の事) 四月一通

293 同右 (養蚕新論差支ニ付) (年月不明) 四月一通

294 同右 (絹糸売買の事) 八月一通

295 田中守成書狀 (稚蚕取引の事) 三月一通

296 半次書狀 (年月不明) 四月一通

297 高橋義地衛門書狀 (御検見願下ケの事) 九月一通

298 田江弥三郎書狀 (御検見願下ケの事) 九月一通

299 真太郎書狀 (小鹿村々御損米の事) 九月一通

300 平井藤十郎書狀 (本米懸り物取分帳面御取調ニ付村々割渡帳引取の事) 九月一通

301 桑田勝平書狀 (上納金会所納置・橋津米相場の事) 五月一通

302 戸崎米藏書狀 (租税課へ差出御用物・私拜借返上銀勘定・印紙奥書・新川荒神砂取丁場の事) 二月一通

303 中原与平書狀 (久米郡改正一条苦情の事) 一月一通

○分尾崎家宛諸家書狀

304 本尾崎書狀 (田中並也様御見分・収納不足・不人氣者・貴家御役所出頭の事) 十一月一通

305 同右 (星見・西村・小林三氏中村屋御止宿・高辻村御普請願の事) 九月一通

306 同右 (泊り村清十郎へ御小人給用立の事) 正月一通

307 同右 (久留村被改正願止メ・庄屋免職願の事他) 二月一通

308 同右 (御通行入用村々渡し・慶次郎引取り懸合の事) 六月一通

309 同右 (当春御勘定始末の事) 正月一通

310 同右 (不足銀相渡すニ付受取人差出す事・御困窮半救積戻しの事) 七月一通

311 同右 (福井十藏へ下地取組元利) 五月一通

312 同右 (永代売渡証文大庄屋奥書の事) 正月一通

313 同右 (拝借米取立の事他) 三月一通

314 同右 (上浅津村山本又藏賄銀二重払の事) 正月一通

315 同右 (医師見廻りニ付懸合) 二月一通

316 同右 (式村医師書上帳提出方督促) 七月一通

317 同右 (東本願寺様御旅立の事) 六月一通

318 同右 (橋津村木成屋新五郎御役場罷出る事) 正月一通

319 同右 (願正寺・浄覚寺不和の事) 正月一通

320 同右 (宇野・橋津両村入札の事) 四月一通

321 同右 (帆立貝漁業銀子預りの事) (年月不明) 一月一通

322 同右 (干身御内貸銀・当春御勘定不足の事) 三月一通

323 同右 (年月不明) 九月一通

324 同右 (年月不明) 九月一通

325 同右 (年月不明) 五月一通

326 同右 (年月不明) 五月一通

327 尾崎文五郎書狀 (上納金会所納置・橋津米相場の事) 五月一通

328 同右 (租税課へ差出御用物・私拜借返上銀勘定・印紙奥書・新川荒神砂取丁場の事) 二月一通

329 同右 (久米郡改正一条苦情の事) 一月一通

330 尾崎書狀 (河村郡御検見の事) 九月一通

331 同右 (御検見願下ケの事) 九月一通

332 同右 (小鹿村々御損米の事) 九月一通

333 同右 (本米懸り物取分帳面御取調ニ付村々割渡帳引取の事) 九月一通

334 同右 (不足銀の事) 二月一通

335 同右 (干身勘定目録・橋津村庄屋被免・小浜村庄屋清造干身御内貸銀・亀屋兵吉自然痘の事) 二月一通

336 西尾崎書狀 (西又林植付・安楽寺後住修学出立の事) 九月一通

337 田後三人書狀 (為替取組の事) 六月一通

338 分辨書狀 (御勘定差別ニ付) 三月一通

339 椿徳十郎書狀 (役人様御尊家止宿の事) 七月一通

340 宇野村庄屋覚藏書狀 (桑苗成育不宣ニ付桑実御買納の事) 十一月一通

341 河原六三郎書狀 (御勘定差別ニ付) 三月一通

342 河原六三郎書狀 (久見より宇谷・石勝両村へ払廻願差出の事) 十一月一通

343 秋田某書狀 (八ッ屋村納所米ニ付) 十一月一通

344 八ッ屋村庄屋長左衛門書狀 (八ッ屋村納所米ニ付) 十一月一通

345 東戸崎書狀 (御趣向座の儀ニ付府依頼) 五月一通

346 同右 (下地手続きニ付私へ出県依頼の事) 二月一通

347 庄屋忠右衛門書狀 (当村収納米之内刻米有之ニ付) 十一月一通

348 松村覚藏書狀 (戸長へ申付られ度内願) 二月一通

349 三枝礼二書狀 (伊平貝漁入費借用金利子支払ニ付) (年月不明) 十一月一通

350 同右 (泊学校買戻し金の事他) 十一月一通

351 同右 (御医師入用別帳の事) 十月一通

352 尾崎富三郎書狀 (座連中算用一件ニ付) 四月一通

353 同右 (泊座勘定・九平棹七蔵引込銀の事) 五月一通

354 但馬屋茂三郎書状 () 四月 一通
355 同 右 () 六月 一通
356 儀平書状 () 四月 一通
○尾崎宛諸家書状
357 寛藏書状 (宇谷・宇野村収納の事他) 十二月他四通
358 同 右 (牛馬銀差出し延引ニ付) 十月 一通
359 椿書状 (貴家諸持積久留村兵藏へ被仰付の事他) 十一月他二通
360 尾崎富三郎書状 () 八月他二通
361 同 右 (四座入用ニ付合・布告廻文持參の事他) 五月 二通
362 中井書状 (私構替えの事) 三月 一通
363 石田民次郎書状 (宗門寺根帳代リニ付) 五月 一通
364 朝右衛門書状 () 八月 一通
365 左兵衛書状 (愚米勿直しの事) 十一月 一通
366 同 右 (松崎納所米ニ付) 十月 一通
367 甚八書状 (米拜借願) 正月 一通
368 田江弥三郎書状 (退役願・伊平貝入費拜借の事他) 二月 一通
369 田江仁三郎書状 () 六月 一通
370 三谷弥三郎書状 (麦粟代金の事) 十二月 一通
371 本田書状 (地所一件) 六月 一通
372 郡役所内甚助書状 () 八月 一通
373 河原書状 () 十一月 二通
374 河原甚次郎書状 (横買入の事) 五月 一通
○その他宛諸家書状
375 道九八郎書状 尾崎清右衛門宛(河村郡上余戸村利兵衛へ物成米給付の事) 八月 一通
376 三沢清之進書状 尾崎清右衛門宛(伊木村吉左衛門梓芳右衛門死骸引取依頼) 十二月 一通
377 戸崎三省書状 尾崎清右衛門宛 () 九月 一通
378 荒井保津馬書状 尾崎清右衛門宛(御郡中五穀成就之御初穂御切手廻しの事) 二月 一通

379 尾崎清右衛門書状 尾崎喜右衛門宛(御振米見積り御検見願・上浅津村飯米願奥書の事) 九月 一通
380 尾崎清右衛門書状 尾崎喜右衛門宛(麦種入用懸合) 九月 一通
381 尾崎清右衛門書状 尾崎喜右衛門宛(松崎町粥米御差紙催促) 九月 一通
382 尾崎清右衛門書状 尾崎喜右衛門宛(宇谷・石脇・國三ヶ村御検見下改帳・水下村御検見場所の事) 正月 一通
383 尾崎喜惣治書状 尾崎文五郎宛(入札官員派出ニ付) 五月 一通
384 尾崎喜惣治書状 尾崎文五郎宛(官員御出張の事) 五月 一通
385 川本村植木甚市・藤藤源二郎書状 尾崎文五郎宛(蚕種製達人の事) 二月 一通
386 尾崎源六書状 本尾崎宛(北方・石脇村願米・藤津村遠藤文平御預ケ米懸合の事) 十二月 一通
387 尾崎文五郎書状 中庄屋四人宛(三十日延願米、粥米差紙願・村々人別へ被遣御褒美農具注文の事) 正月 二通
388 尾崎文五郎書状 中庄屋四人宛(收納不促・湯村火事人拜借賦・構替り御役人の事) 正月 一通
389 尾崎文五郎書状 中庄屋四人宛(地利米取立方・御買物不足取立不行届・施米の事) 二月 一通
390 尾崎清右衛門書状 龜田兵藏・河原六兵衛・尾崎忠助宛(万端入念精米御納所致す様) 十月 一通
391 同 右 龜田兵藏・河原六兵衛・尾崎忠助宛(早稲・中稲取立八月中在御用場へ目録差出す事) 八月 一通
392 同 右 龜田兵藏・河原六兵衛・尾崎忠助宛(正國院様十七回御法事ニ付) 六月 一通
393 同 右 尾崎忠助・福井十藏・秋田兵藏宛(村々寄米不行届ニて日延迷惑の事・三分渡しの事) 四月 一通
394 同 右 尾崎忠助・河原六兵衛宛(宇野村御作扶持粥米願下げニ付) 三月 一通
395 同 右 尾崎忠助・秋田兵藏宛(倉吉年寄へ早追助人夫道筋の村々より差出す事) 八月 一通
396 尾崎清右衛門書状 尾崎忠助・尾崎喜右衛門宛(早稲・中稲納所速に

致す様) 九月 一通
397 若原書状 分河原・分尾崎宛(三極取引の事) 七月 一通
398 本尾崎書状 分尾崎・福井宛(永見宇八郎様御用向・扶持願・地井手渡しの事) 四月 一通
399 本尾崎書状 分尾崎・福井宛(泊り村徳五郎取調ニ付) 四月 一通
400 尾崎源六書状 秋田兵藏宛(光吉村の者共式村山林え入込我儘根伐致し候一件ニ付懸合出願決心の事) 十月 一通
401 尾崎源六書状 秋田兵藏宛(光吉村之者共式村山林え入込我儘根伐致し候一件ニ付懸合・過料銀の事) 十一月 二通
402 同 右 秋田兵藏宛(光吉村人別之者共式村山林え入込我儘根伐致し候一件懸合之意御返答被下度) 十一月 二通
403 長瀬村庄屋邦藏等書状 秋田兵藏宛(宇野村山一件過料銀の事) 十一月 一通
404 長瀬源六書状 長瀬村庄屋邦藏外三人宛(光吉村より当村山林松根伐一件ニ付三ヶ村村役人添書の事) 十一月 二通
405 同 右 長瀬村庄屋邦藏外宛(光吉村より当村山林松合ニ付おどろ・松葉さでの儀差留不申事) 十一月 一通
406 尾崎富三郎書状 尾崎・河原宛(鉢屋給并御年貢不足拜借米代銀ニ付下地家屋敷売払い借相仕廻度) 四月 一通
407 尾崎惠助書状 宇野外十ヶ村庄屋宛(池田筑後守殿被蒙御差紙の事) 八月 一通
408 尾崎源六書状 庄屋覚藏宛(泊・石脇・小浜三ヶ村牛馬取調帳催促) 十月 一通
409 山口衛四郎書状 宇野村庄屋宛(穴窪村光三郎持參千身貝の事) 一通
410 尾崎源六書状 福井久太郎宛 () 八月 一通
411 尾崎文五郎書状 伊藤久四郎宛(他郡差引目録・諸願届差出し方他) 正月 一通
412 下尾崎書状案 伊藤宛(庶務掛より郡長・郡小長宛出頭申達し) 六月 一通
413 尾崎源六書状案 田中守成宛(私共月給請取不足の事) 二月 一通
414 同 右 田中守成宛(原紙印紙凡積會計帳延引ニ付) 九月 一通
415 本尾崎書状 尾崎・山本宛(御勘定御日廻り、御小人片柴村周助請銀の

事他) 正月 一通
416 尾崎源六書状案 松村又十郎宛 () 九月 一通
417 尾崎清右衛門書状案 御皆様宛(村瀬弥兵衛様御触ニ付) (年月不明) 一通
418 尾崎源六書状 安崎安次郎・木村彦四郎・尾崎鉄藏宛(道路請負金出入ニ付) (年月不明) 一通
419 尾崎源六書状案 大村利造宛(生糸改分会社願の事) 七月 一通
420 同 右 小区長池口安道宛(伊平貝諸入費不払ニ付) 二月 一通
421 同 右 湖山村平八宛 () 四月 一通
422 福富幸三郎書状 尾崎両家宛(駕籠代支払延引ニ付) 二月 一通
423 尾崎源六書状 桑田勝平宛(返済金延引願) 八月 一通
424 尾崎義信書状 尾崎栄宛 () 九月他二通
425 本尾崎書状 尾崎栄宛 () 九月他二通
426 河原甚次郎書状 尾崎栄宛 () 七月他三通
427 同 右 尾崎栄宛 () 六月 一通
428 同 右 尾崎栄宛(三極焼失の事) 明治六年七月他八通
429 同 右 尾崎栄宛 () 五月 一通
430 河原甚次郎書状 尾崎栄・尾崎米七宛 () 九月他四通
431 若原親瑞書状 尾崎栄宛(紙原料の事他) 四月 一通
432 同 右 尾崎栄宛(徴兵取消しの事) 六月 一月
433 山本善市書状 尾崎栄宛(購買上代金の事) 明治廿六・廿八年 四通
434 小浜七藏書状 尾崎栄宛 () 明治廿五年十一月 一通
435 真田久米藏書状 尾崎栄宛 () 明治廿六年 六通
436 大阪服部商會書状 尾崎栄宛(楮・三極取引の事) 明治廿六年 四通
437 大阪服部孝祐書状 尾崎栄宛(三極取引の事) 明治廿六年 四通
438 大阪鹿野悠書状 尾崎栄宛 () 明治廿七年十一月 一通
439 尾崎書状 尾崎栄宛(河内村三極・楮扱買の事) 七月 一通
440 尾崎兩人書状 尾崎栄宛 () 八月 一通
441 尾崎米七書状 同右 () 明治廿六年十二月 一通
442 よし藏書状 同右 () 十月 一通
443 尾崎哲造書状 同右 () 明治廿八年 一月 一通

- 444 尾崎榮宛 (年月不明) 一通
- 445 尾崎榮宛 (年月不明) 一通
- 446 尾崎母書狀 同右 (年月不明) 一通
- 447 尾崎よし書狀 同右 (年月不明) 一通
- 448 西尾崎いせ書狀 同右 (年月不明) 一通
- 449 尾崎若太郎書狀 尾崎保宛 (年月不明) 一通
- 450 同右 尾崎保宛 (年月不明) 一通
- 451 尾崎哲造書狀 尾崎保宛 (年月不明) 一通
- 452 同右 (新木綱謙弘込の事) 七月 一通
- 453 同右 (網注文お断り) (年月不明) 一通
- 454 富山政十郎書狀 尾崎保宛 (蘭代金・蚕種の事) 八月 一通
- 455 尾崎江仁造書狀 同右 (年月不明) 一通
- 456 尾崎弟書狀 同右 (年月不明) 一通
- 457 尾崎いせ書狀 同右 (年月不明) 一通
- 458 宮脇熊太郎書狀 同右 (年月不明) 一通
- 459 東京日華書局坂本書狀 同右 (年月不明) 一通
- 460 尾崎榮書狀 河原基次郎宛 (椿買入の事他) 七月 一通
- 461 入江善太郎書狀 尾崎仁三郎宛 (年月不明) 一通
- 462 同右 同右 (年月不明) 一通
- 463 尾崎亨書狀 同右 (年月不明) 一通
- 464 尾崎昇五郎書狀 下伯父宛 (年月不明) 一通
- 465 松岡書狀 叔父宛 (学校へ官倉私下ケの事) (年月不明) 一通
- 466 音田老人書狀 尾崎うた子宛 (年月不明) 一通
- 467 むらお書狀 真屋おさよ宛 (年月不明) 一通
- 468 父書狀 尾崎千代宛 (年月不明) 一通
- 469 尾崎達子書狀 尾崎千代子宛 (年月不明) 一通
- 470 尾崎いせ書狀 渡辺鉄蔵宛 (年月不明) 一通
- 471 某書狀 (河村郡納米ニ付) 十二月 一通

2 伯耆国河村郡長瀬村(羽合町長瀬)
本戸崎関係資料

- 472 (鉢屋由緒書) 本山八十一世紫陽上人寿雅 河村郡戸崎久右衛門構鉢家 連名 天保十四年七月 一通
- 473 夫馬儀定書 泊村夫馬持佐助・庄屋佐助 戸崎久右衛門宛 弘化三年三月 一通
- 474 相对貸借之儀ニ付触書写 金屋戸崎 慶応四年正月 一通
- 475 討幕令布告写 荒尾駿河・荒尾千葉之助・和田孝岐・荒尾近江 慶応四年正月 一通
- 476 御触書写并指出控戸崎 明治二年六月 横帳 一通
- 477 石脇・園村御借米手形 石脇村庄屋武右衛門・園村庄屋九郎左衛門 弘化四年三月 一通
- 478 戸崎久右衛門宛 弘化四年三月 一通
- 479 下水村扶持方米手形 下水村庄屋喜七兵衛 戸崎久右衛門宛 弘化四年五月 一通
- 480 下浅津村拜借飯米手形 下浅津村庄屋平兵衛 戸崎久右衛門宛 弘化四年六月 一通
- 481 川上村扶持米願 川上村年寄常三郎・庄屋八郎右衛門 戸崎宛 弘化四年七月 一通
- 482 方地村扶持方米拜借証文 方地村庄屋久治郎 戸崎久右衛門宛 弘化四年八月 一通
- 483 光吉村扶持方米拜借手形 光吉村庄屋六左衛門 戸崎市左衛門宛 嘉永元年八月 一通
- 484 田畑村作扶持米拜借願 田畑村組頭徳右衛門 庄屋惣兵衛 安政六年正月 三通
- 485 田畑村作扶持米拜借願 田畑村組頭多組頭五良衛・組頭徳右衛門・庄屋惣兵衛 戸崎久右衛門宛 安政六年正月 三通
- 486 山辺村作扶持米拜借願 山辺村組頭市三郎・庄屋惣兵衛 戸崎久右衛門宛 安政六年正月 一通
- 487 引地村作扶持米拜借願 引地村組頭長兵衛・庄屋 安政六年正月 一通

- 487 戸崎久右衛門宛 安政六年正月 三通
- 488 小鹿谷村作扶持米拜借願 小鹿谷村組頭善九郎・庄屋 安政六年正月 三通
- 489 中尾村作扶持米拜借願 中尾村組頭榮蔵・庄屋 安政六年正月 一通
- 490 植見村作扶持米拜借願 植見村小頭九名 庄屋門田村清左衛門 二通
- 491 南谷村扶持方米拜借証文 南谷村年寄源蔵・庄屋元右衛門 (年月不明) 七月 一通
- 492 御扶持方米通 組頭戸崎久右衛門 橋本定右衛門宛 明治元年十二月 一通
- 493 西園寺様御本陣入用品々書上帳 御本陣宿本戸崎 慶応四年二月 横帳 一通
- 494 西園寺様御本陣入用品々書上帳 本戸崎 慶応四年二月 横帳 一通
- 495 西園寺様御本陣ニ付何角借用書上帳 本戸崎 慶応四年二月 横帳 一通
- 496 西園寺様御本陣ニ付御触書写し帳 戸崎久右衛門 慶応四年二月 一通
- 497 長瀬浜新田開之儀定書控 新田願主汗入郡安原村治平・世話方 請人二名 長瀬村役人衆中 嘉永六年正月 一通
- 498 切支丹宗門改起請文控 河村郡戸崎米蔵 明治三年九月 二通
- 499 長瀬通座残り物入札控 長瀬村 (年月不明) 一通
- 500 第九六区小二区分諸記録(旅宿人届・長瀬宿乞食調(他)) (年月不明) 横帳 一册
- 501 戸崎富隆諸届綴(第五十二区貫風面々拜借銀届・小学校助教方月給増願・天神川橋懸ケ願、会議所入費正副月給取立方向、長瀬宿親御蔵創立届他) 明治六年六月他 一綴
- 502 長瀬村年貢取立歟願書 長瀬村市左衛門他 尾崎三右衛門・市川七郎左衛門宛 享和二年八月 一通
- 503 河原郡佐美村文化八末御下札表御高物成増減差別帳控 戸崎文之右衛門 構 改入原村甚右衛門・泊村藤七 天保十四年八月 一册

- 503 (長瀬村御加損米帳) (年月不明) 横帳 一册
- 504 河村郡御勘定中目録控 弘化二年三月 一通
- 505 河村郡佐美村当毛荒場宛口懸組差別帳 戸崎文之右衛門構 安政四年六月 一册
- 506 野花村定加損米願 野花村小組頭・組頭飯後・庄屋羽衣石村鹿蔵 戸崎久右衛門宛 安政六年正月 二通
- 507 酒運上銀請取証文 石原節之儀・小山寛左衛門 河村郡大庄屋戸崎久右衛門宛 天保十四年六月 一通
- 508 酒運上銀請取証文 堀六郎兵衛・財原甚右衛門 戸崎久右衛門宛 天保十五年九月・十二月 二通
- 509 酒運上銀請取証文 佃豊左衛門・野田幸之進 戸崎久右衛門宛 弘化二年六月・十二月 一通
- 510 酒運上銀請取証文 岩本市郎左衛門・財原甚右衛門 戸崎久右衛門宛 弘化三年六月・十一月 一通
- 511 酒運上銀請取証文 佃豊左衛門・野田幸之進 戸崎久右衛門宛 弘化四年六月 一通
- 512 表代銀請取証文 堀六郎兵衛・財原甚右衛門 戸崎久右衛門宛 天保十五年五月 一通
- 513 表代銀請取証文 佃豊左衛門・野田幸之進 戸崎久右衛門宛 弘化二年六月 一通
- 514 表代銀請取証文 佃豊左衛門・野田幸之進 戸崎久右衛門宛 弘化四年六月 一通
- 515 冥加金受取証文 中野和平 戸崎久右衛門宛 慶応元年五月 一通
- 516 河村郡御下札入米再願 伊木村浦島長十郎・上餘戸村浦島正保 関島取票参事宛 明治六年一月 四通
- 517 浜畑田成場上納物成式割五步被遺米并ニ井手下当毛荒再願 長瀬村戸崎富隆 関島取票参事宛 明治六年一月 一通
- 518 橋津官倉預米より工費支払通知書 長瀬宿戸崎富隆代理戸崎米蔵 橋津官倉預米より工費支払通知書 長瀬宿戸崎富隆代理戸崎米蔵 明治十三年八月 一通
- 519 頼母子講欠口分銀子借用証文 倉吉塩屋庄兵衛・請人 河村郡浦島長右衛門・戸崎久右衛門宛 天保十四年五月 一通

- 520 金子借用証文 熊野山本宮御師橋本大夫 戸崎久右衛門宛 天保十五年三月他 三通
- 521 金子借用証文 熊野本宮御師橋本大夫 戸崎市左衛門宛 西四月 一通
- 522 金子借用証文 荒井作衛 戸崎久右衛門宛 天保十六年正月 一通
- 523 金子借用証文 田後村鉢屋源藏 金屋宛 弘化元年十月 一通
- 524 借用銀請合手形 借主上浅津村直三郎・請人庄屋徳左衛門 天保二年十二月 一通
- 525 金子借用証文 借主荒井保津真・宮内村年寄・庄屋 戸崎久右衛門宛 天保三年三月 一通
- 526 金子借用証文 山辺村組頭六兵衛・年寄宗兵衛・庄屋喜三郎 天保三年十月 一通
- 527 金子借用証文 上浅津村助七 戸崎宛 天保四年正月 一通
- 528 金子借用証文 借主宮内村長三郎・戸崎久右衛門宛 嘉永五年正月 一通
- 529 金子借用証文 借主宮内村長三郎・年寄・庄屋 戸崎市左衛門宛 嘉永五年正月 一通
- 530 金子借用証文 借主田中忠摩守 金屋久右衛門宛 嘉永五年八月 三通
- 531 牛壳切証文控 水卜村与三右衛門 戸崎久右衛門宛 嘉永五年十一月 一通
- 532 金子借用証文 借主水卜村右衛門・年寄・庄屋 長瀬村久右衛門宛 安政二年正月 一通
- 533 金子借用証文 借主弥与七 金兵衛宛 安政二年十一月 一通
- 534 金銀差引通(残欠) 玉屋邦藏 本家宛 明治三年六月 一通
- 535 金銭借用証書并定約書 借主上浅津村松井市三郎 戸崎米藏宛 明治九年五月・十月 二通
- 536 金銭借用証書 借主上浅津村田辺甚五郎 戸崎米藏宛 明治九年六月 一通
- 537 金銭借用証書 借主藤津村松谷増治郎 戸崎米藏宛 明治九年七月 一通
- 538 金銭借用証書 借主長瀬宿御用人和田嶋惣平 戸崎米藏宛 明治九年 一通
- 539 金銭借用証書 借主長瀬宿秋久惣七 戸崎米藏宛 一通
- 540 金銭借用証書 借主長瀬村瀬坂宗八 戸崎米藏宛 明治十年九月 一通
- 541 金銭借用証書并定約書 借主長瀬宿岡常三郎 戸崎米藏宛 明治十一年五月 二通
- 542 金銭借用証書 借主長瀬宿中村仲次郎 戸崎米藏宛 明治十一年五月 一通
- 543 金銭借用証書 借主横田友三郎 戸崎米藏宛 明治十一年五月 一通
- 544 正米借用証書 河村郡久見村更田善藏 戸崎米藏宛 明治十二年五月 一通
- 545 借用金証書 借主橋津村佐渡藤四郎 戸崎米藏宛 明治十三年一月 一通
- 546 大塚村堰水分ヶ儀定書控・長瀬他九ヶ村庄屋 久米郡内海清右衛門 河村郡戸崎市左衛門・北尾嘉佐衛門宛 安政七年三月 一通
- 547 (金銭貸借出入裁許願控) (橋津村吹田屋三郎兵衛相手) 願主長瀬村文之右衛門 中原与兵衛・松嶋重右衛門宛 嘉永四年六月 二通
- 548 (地利米出入裁許願控) (野方村伊左衛門相手) 願主長瀬村久右衛門 戸崎文之右衛門・尾崎清右衛門宛 安政三年三月 一通
- 549 (金銭貸借出入裁許願控) (橋津村周左衛門相手) 戸崎久右衛門 椿岩助宛 安政六年四月 一通
- 550 (金銭貸借出入裁許願控) (北方村清右衛門相手) 戸崎久右衛門 椿岩助宛 安政六年九月 一通
- 551 (金銭貸借出入裁許願控) (宮内村定七相手) 戸崎久右衛門 椿岩助宛 安政六年九月 一通
- 552 (金銭貸借出入和濟儀定書控) (宮内村市右衛門相手) 願主戸崎久右衛門 尾崎惠助宛 安政六年九月 二通
- 553 (金銭貸借出入裁許願控) (水下村市郎右衛門相手) 願主長瀬村久右衛門 河原六兵衛宛 文久元年十一月 二通
- 554 (金銭貸借出入裁許願控) (宮内村市右衛門相手) 願主長瀬村久右衛門 河原六兵衛宛 文久二年五月 一通
- 555 (金銭貸借出入裁許願控) (宮内村佐右衛門相手) 願主長瀬村久右衛門 河原六兵衛宛 文久二年五月 一通
- 571 久米郡步兵御支配給渡済届 戸崎米藏・尾崎啓次郎 神戸大宛 明治十二年十二月 一通
- 572 新軍隊提書(白上帯・苗字名前懸札・角輪紋付提灯使用の禁止) (年月不明) 二通
- 573 步兵組頭退役願控 河村郡戸崎米藏 権大主簿宛 明治三年二月 一通
- 574 久米河村兵隊土籍書上控 戸崎米藏 明治三年三月 一册
- 575 土族本祿四季割書 戸崎富隆 明治五年十一月 一册
- 576 河村郡長瀬宿文吉出火一件取調取書 村かまへ 火元文吉・家族・小頭・組頭・庄屋・類焼人茂平 (年月不明) 一册
- 577 七右衛門梟首高札写(長瀬村徳人玉屋騒動主謀人) 文久三年四月 一通
- 578 畑水代売渡証文 売主野方村伊左衛門 長瀬村市左衛門宛 嘉永三年正月 一通
- 579 畑山山林水代売渡証文 売主宮内村定七 戸崎久右衛門宛 嘉永五年六月 一通
- 580 田地水代売渡証文 売主橋津村機次郎 久留村庄屋伊兵衛 戸崎重兵衛宛 明治三年八月 一通
- 581 畑水代売渡証文 売主戸崎久右衛門名代長瀬村与右衛門・漆原村庄屋 太平 河原六兵衛宛 (明月不明) 一通
- 582 田地水代売渡証文 売主戸崎久右衛門名代長瀬村与右衛門・方地村庄屋 庄次郎 河原六兵衛宛 (年月不明) 一通
- 583 (献上金受取証) 亀山御次役所 長瀬村勝福寺門徒戸崎久右衛門・千田屋五兵衛宛 年五月 一通
- 584 仕切米請状 片柴村半左衛門 戸崎重兵衛宛 慶應四年正月 一通
- 585 手作田畑諸人用書上 明治元年分、藤津村吉兵衛 本戸崎宛 明治二年二月 一綴
- 586 通付米売切手形 水下村六左衛門 長瀬村重兵衛宛 嘉永六年九月 一通
- 587 褒状(難波人へ米施し二付) 民政局 戸崎米藏・長瀬宿十一宛 明治四年九月 二通
- 588 下作廻月給帳 吉川・正木・大森三人分 明治六年十月 一册
- 520 金子借用証文 熊野山本宮御師橋本大夫 戸崎久右衛門宛 天保十五年三月他 三通
- 521 金子借用証文 熊野本宮御師橋本大夫 戸崎市左衛門宛 西四月 一通
- 522 金子借用証文 荒井作衛 戸崎久右衛門宛 天保十六年正月 一通
- 523 金子借用証文 田後村鉢屋源藏 金屋宛 弘化元年十月 一通
- 524 借用銀請合手形 借主上浅津村直三郎・請人庄屋徳左衛門 天保二年十二月 一通
- 525 金子借用証文 借主荒井保津真・宮内村年寄・庄屋 戸崎久右衛門宛 天保三年三月 一通
- 526 金子借用証文 山辺村組頭六兵衛・年寄宗兵衛・庄屋喜三郎 天保三年十月 一通
- 527 金子借用証文 上浅津村助七 戸崎宛 天保四年正月 一通
- 528 金子借用証文 借主宮内村長三郎・戸崎久右衛門宛 嘉永五年正月 一通
- 529 金子借用証文 借主宮内村長三郎・年寄・庄屋 戸崎市左衛門宛 嘉永五年正月 一通
- 530 金子借用証文 借主田中忠摩守 金屋久右衛門宛 嘉永五年八月 三通
- 531 牛壳切証文控 水卜村与三右衛門 戸崎久右衛門宛 嘉永五年十一月 一通
- 532 金子借用証文 借主水卜村右衛門・年寄・庄屋 長瀬村久右衛門宛 安政二年正月 一通
- 533 金子借用証文 借主弥与七 金兵衛宛 安政二年十一月 一通
- 534 金銀差引通(残欠) 玉屋邦藏 本家宛 明治三年六月 一通
- 535 金銭借用証書并定約書 借主上浅津村松井市三郎 戸崎米藏宛 明治九年五月・十月 二通
- 536 金銭借用証書 借主上浅津村田辺甚五郎 戸崎米藏宛 明治九年六月 一通
- 537 金銭借用証書 借主藤津村松谷増治郎 戸崎米藏宛 明治九年七月 一通
- 538 金銭借用証書 借主長瀬宿御用人和田嶋惣平 戸崎米藏宛 明治九年 一通
- 539 金銭借用証書 借主長瀬宿秋久惣七 戸崎米藏宛 一通
- 540 金銭借用証書 借主長瀬村瀬坂宗八 戸崎米藏宛 明治十年九月 一通
- 541 金銭借用証書并定約書 借主長瀬宿岡常三郎 戸崎米藏宛 明治十一年五月 二通
- 542 金銭借用証書 借主長瀬宿中村仲次郎 戸崎米藏宛 明治十一年五月 一通
- 543 金銭借用証書 借主横田友三郎 戸崎米藏宛 明治十一年五月 一通
- 544 正米借用証書 河村郡久見村更田善藏 戸崎米藏宛 明治十二年五月 一通
- 545 借用金証書 借主橋津村佐渡藤四郎 戸崎米藏宛 明治十三年一月 一通
- 546 大塚村堰水分ヶ儀定書控・長瀬他九ヶ村庄屋 久米郡内海清右衛門 河村郡戸崎市左衛門・北尾嘉佐衛門宛 安政七年三月 一通
- 547 (金銭貸借出入裁許願控) (橋津村吹田屋三郎兵衛相手) 願主長瀬村文之右衛門 中原与兵衛・松嶋重右衛門宛 嘉永四年六月 二通
- 548 (地利米出入裁許願控) (野方村伊左衛門相手) 願主長瀬村久右衛門 戸崎文之右衛門・尾崎清右衛門宛 安政三年三月 一通
- 549 (金銭貸借出入裁許願控) (橋津村周左衛門相手) 戸崎久右衛門 椿岩助宛 安政六年四月 一通
- 550 (金銭貸借出入裁許願控) (北方村清右衛門相手) 戸崎久右衛門 椿岩助宛 安政六年九月 一通
- 551 (金銭貸借出入裁許願控) (宮内村定七相手) 戸崎久右衛門 椿岩助宛 安政六年九月 一通
- 552 (金銭貸借出入和濟儀定書控) (宮内村市右衛門相手) 願主戸崎久右衛門 尾崎惠助宛 安政六年九月 二通
- 553 (金銭貸借出入裁許願控) (水下村市郎右衛門相手) 願主長瀬村久右衛門 河原六兵衛宛 文久元年十一月 二通
- 554 (金銭貸借出入裁許願控) (宮内村市右衛門相手) 願主長瀬村久右衛門 河原六兵衛宛 文久二年五月 一通
- 555 (金銭貸借出入裁許願控) (宮内村佐右衛門相手) 願主長瀬村久右衛門 河原六兵衛宛 文久二年五月 一通
- 571 久米郡步兵御支配給渡済届 戸崎米藏・尾崎啓次郎 神戸大宛 明治十二年十二月 一通
- 572 新軍隊提書(白上帯・苗字名前懸札・角輪紋付提灯使用の禁止) (年月不明) 二通
- 573 步兵組頭退役願控 河村郡戸崎米藏 権大主簿宛 明治三年二月 一通
- 574 久米河村兵隊土籍書上控 戸崎米藏 明治三年三月 一册
- 575 土族本祿四季割書 戸崎富隆 明治五年十一月 一册
- 576 河村郡長瀬宿文吉出火一件取調取書 村かまへ 火元文吉・家族・小頭・組頭・庄屋・類焼人茂平 (年月不明) 一册
- 577 七右衛門梟首高札写(長瀬村徳人玉屋騒動主謀人) 文久三年四月 一通
- 578 畑水代売渡証文 売主野方村伊左衛門 長瀬村市左衛門宛 嘉永三年正月 一通
- 579 畑山山林水代売渡証文 売主宮内村定七 戸崎久右衛門宛 嘉永五年六月 一通
- 580 田地水代売渡証文 売主橋津村機次郎 久留村庄屋伊兵衛 戸崎重兵衛宛 明治三年八月 一通
- 581 畑水代売渡証文 売主戸崎久右衛門名代長瀬村与右衛門・漆原村庄屋 太平 河原六兵衛宛 (明月不明) 一通
- 582 田地水代売渡証文 売主戸崎久右衛門名代長瀬村与右衛門・方地村庄屋 庄次郎 河原六兵衛宛 (年月不明) 一通
- 583 (献上金受取証) 亀山御次役所 長瀬村勝福寺門徒戸崎久右衛門・千田屋五兵衛宛 年五月 一通
- 584 仕切米請状 片柴村半左衛門 戸崎重兵衛宛 慶應四年正月 一通
- 585 手作田畑諸人用書上 明治元年分、藤津村吉兵衛 本戸崎宛 明治二年二月 一綴
- 586 通付米売切手形 水下村六左衛門 長瀬村重兵衛宛 嘉永六年九月 一通
- 587 褒状(難波人へ米施し二付) 民政局 戸崎米藏・長瀬宿十一宛 明治四年九月 二通
- 588 下作廻月給帳 吉川・正木・大森三人分 明治六年十月 一册

589 問柄評決(戸崎雄次郎并十一)本家名籍戸崎米蔵 明治八年十二月 一通
590 当座貸越限度額減額承諾書 戸崎郁三 第三銀行倉吉支店宛 明治廿六年二月 一通

591 米原勇之進書状 戸崎久右衛門宛(御開物辻帳并請合手形落手)五月 一通
592 野田幸之進書状 戸崎久右衛門宛 一通
593 二宮源藏書状 戸崎久右衛門宛 一通
594 財原基右衛門書状 戸崎久右衛門宛 (大根・塩藏贈与の礼状)十月 一通
595 坪田兵助書状 戸崎久右衛門宛 一通
596 小山寛左衛門 戸崎久右衛門宛 一通
597 沢往左次馬 戸崎久右衛門宛 一通
598 段塚郡之丞 戸崎久右衛門宛(御歸國悦び言上) 六月 一通
599 日比又左衛門 戸崎久右衛門宛(借銀歩合高歩ニ付御下ケ願)十一月 一通
600 荒井保津真書状 戸崎久右衛門宛(借銀利銀の事) 正月 一通
601 原田某書状 八百谷定藏宛(年月不明) 正月 一通
602 戸崎米蔵書状 八百谷定藏宛(年月不明) 正月 一通

3 伯耆国河村郡田後村(羽合町田後)

603 明和七年四月強訴徒党御法度写并違書 田中幸六他三人 椿岩 助宛 安永六年九月 二通
604 八ッ屋村にて久米郡留海村長左衛門行倒一件書 大庄屋椿岩助 安政五年十一月 一綴
605 河村郡小浜村灘浜にて倒死人一件ニ付村役人取調口書 椿岩助 田濁 唯右衛門宛 安政五年十一月 一綴
606 御用状留 (年月不明) 横帳 一册
607 御用留 (万延元年十二月) 横帳 一册
608 御用状写 (庄屋等役料改正、村々御図帳始諸帳面大庄屋預り置事) 田濁唯右衛門・佐野増藏 椿岩助宛 十一月二十八日 一通

4 伯耆国八橋郡瀬戸村(大栄町瀬戸)

武信関係資料

627 椿書状案 尾嶋宛() 十二月 一通
628 八橋郡以西郷社家方由来書之案 神主今在家村後藤丹波 天明五年十二月 一册
629 八橋郡今在家村神社書上帳 後藤美濃 山崎主馬宛 寛政八年正月 一册
630 八橋郡神社諸殿身元由緒書控 今在家村山田肥後 倉光長三郎宛 天保十五年十二月 一册
631 八橋郡原・東園・西園・久米郡曲諸事書上 原村神主井上教馬 文久二年八月 一册
632 八橋郡西高尾・東高尾・上種・宮脇・古布地・別所・久米郡桜村神社書上帳 神主西高尾村石原誠大夫 武信伊右衛門宛 文久二年八月 一册
633 八橋郡月下宮書上帳 坂下村池本対馬 武信伊右衛門宛 文久二年八月 一册
634 八橋郡光好・叶市・高松村神社諸事書上帳 光好村神主池本大和 武信伊右衛門宛 文久二年八月 一册
635 八橋郡金屋・下大江・松井・中原村氏神書上帳 池本伊勢 武信伊右衛門宛 文久二年八月 一册
636 八橋郡杉下村并久米郡服部村持宮書上帳 杉下村池本初之丞 武信伊右衛門宛 文久二年八月 一册
637 八橋郡大杉・山田・公文・今田・野田・出合・赤松・倉坂村神社書上帳 大杉村池本筑前 武信伊右衛門宛 文久二年八月 一册
638 縁起 八橋郡松谷村牛頭天王社身元由緒・世代 神主池本市正 武信伊右衛門宛 文久二年八月 一册

609 御用状 (御普請了場勤方村役人勤向役料心付諸雜費等之儀改正についで) 田濁唯右衛門・佐野増藏 椿岩助宛 十二月 一通
610 因州八上郡片山村善七母かよ相果一件村役人等口書控 河村郡中庄屋 尾崎恵助・八上郡中庄屋今嶋重次郎 田濁唯右衛門宛 (文久二) 戊午十一月 二册

611 八上郡片山村善七母伯州河村郡小浜村にて病死致し着用所持之品書上帳 片山村組頭茂右衛門・庄屋伊兵衛 戊午十一月 一册
612 八上郡片山村善七母かよ伯州河村郡小浜村にて病死致し右善七御取調口書 善七・小頭・組頭助・庄屋 八上郡中庄屋今嶋重次郎 河村郡同尾崎恵助宛 文久二年十一月 一册
613 畑永代讓状 椿岩助 長瀬村庄屋 勝福寺宛 慶応元年三月 一通
614 畑永代渡証文 椿岩助 長瀬村与右衛門宛 慶応元年八月 一通
615 金子借用証文 武信潤太郎 椿岩助宛 慶応元年十二月 一通
616 勘定切手 椿岩助 弥助宛 慶応四年正月 一通
617 金子借用証文 田後村庄屋芳藏・六佐右衛門・請入涌嶋鹿之丞 塗師屋喜兵衛宛 明治二年三月 一通
618 借入金返済ニ係ル御裁許願袖控 椿岩平 明治四年正月 一册
619 河村郡長瀬宿・潰谷村地内田畑山林所持限書土地券証御下渡願帳 田後村持主藤島翠他 関島取泉参事宛 明治六年四月 二册
620 田後学校保護人辞令 鳥取泉權参事伊集院兼善 椿新太郎宛 明治八年五月 一通
621 八橋郡瀬戸村武信潤太郎元立金元利計算年々具仕出し写 明治九年十一月 横帳 二册
622 (地券関係綴) 本椿 明治十三年 一綴
623 神戸大助書状写 椿岩助宛(河村郡石脇村庄屋他作高帳認方不念ニ付裁判仰付、過料取立ノ件) 并岩助添状 六月 二通
624 文次郎書状 椿岩助宛(西三郡トモ皆済の由明後日中ニ書付相認む事) 十月 一通
625 椿岩助書状 田後・長瀬・橋津・宇野村々庄屋宛(調練場巡見費用等ニ付) 十月 二通

639 篔津・光・尾張持宮諸事書上帳 八橋郡篔津村神主河合大藏 武信伊右衛門宛 文久二年八月 一册
640 八橋郡太一垣村産神両社書上帳 神主河井松太輔 寺社御役所宛 文久二年八月 一册
641 八橋郡持宮諸事書上帳(山川・大父・国実・大熊・今地・竹内、金屋・高木村) 山川村神主池山薩摩 武信伊右衛門宛 文久二年八月 一册
642 八橋郡羽田井村賀茂大明神・樋口村牛頭天皇・八重村八幡大神由来御書上帳 神主八重村細谷讃岐 武信伊右衛門宛 文久二年八月 一册
643 八橋郡赤坂村春日大明神由来御書上帳 神主潮音寺村後藤播磨 武信伊右衛門宛 文久二年八月 一册
644 八橋郡東横村神社書上帳 神主細谷対馬 武信伊右衛門宛 文久二年九月 一册
645 八橋郡妻波村諸堂諸仏世代書上帳 妻波村宝林寺 武信伊右衛門宛 文久二年八月 一册
646 八橋郡西高尾村真福寺諸事書上帳 真福寺 武信伊右衛門宛 文久二年八月 一册
647 八橋郡山田村医光寺・山崎村清雲寺・下大江村吉祥寺諸事書上帳 医光寺・清雲寺・吉祥寺 武信伊右衛門宛 文久二年八月 一册
648 八橋郡赤崎村永福寺諸事書上帳 赤崎村永福寺 武信伊右衛門宛 文久二年八月 一册
649 八橋郡赤崎村専称寺書上帳 赤崎村専称寺 武信伊右衛門宛 文久二年八月 一册
650 八橋郡東井手上村松蔭寺諸事書上帳 松蔭寺 武信伊右衛門宛 文久二年八月 一册
651 山伏院内世代書上帳 八橋郡東園村大龍院 武信伊右衛門宛 文久二年十月 一册
652 八橋郡西園村修験院内世代書上帳 西園村門学院 武信伊右衛門宛 文久二年十月 一册

- 653 六尾村修驗院内世代書上帳 六尾村寛正院 武信伊右衛門宛 文久二年十月 一册
- 654 八幡郡池谷村知足院書上帳 知足院 武信伊右衛門宛 (文久二年) 九月 一册
- 655 八幡郡池谷村知足院書上帳 知足院 武信伊右衛門宛 文久二年十二月 一册

5 旧鳥取縣士族大塚章造關係資料

- 656 文化十五寅年分所々在出手控日記 北沢 安政五年五月改 横帳 一册
- 657 郷方一手御役人名前 武久控 (年月不明) 横帳 一册
- 658 地所繩之入方并算用当 御新田部屋 文政三年 横帳 一册
- 659 在方一手名前記 大塚隆 文久元年四月改 横帳 一册
- 660 陸運會社人足帳 大塚少胤 (年月不明) 横帳 一册
- 661 人足帳 大塚史生・少胤 明治四・五年 横帳 一册
- 662 在中之者依功被下米取調帳他 明治五年八月 一册
- 663 因幡國氣多郡夏泊村卒未別取立人別取分帳 第五十区戸長中島時宣 明治六年二月 横帳 一册
- 664 代理戸長島尾吉平 明治六年二月 横帳 一册
- 665 明治六年分鳥取県管轄因幡伯耆國一円民費取調書 鳥取県 昭帳 一册
- 666 旧鳥取県より鳥取県への救荒関係引継目録并文書写 元参事伊集院兼善 代理元鳥取県七等出仕増田徳風 嶋根県令佐藤信寛宛 明治九年二月 一册
- 667 元鳥取県事務引送り記 元鳥取県残務係大塚章造 明治九・十年 一册

6 倉吉勸業社關係資料

- 668 勸業基本願 倉吉勸業社鳥飼藤九郎他六名 泉勸業懸宛 明治五年九月 一册
- 669 勸業為替商社設立場所拝借願 鳥飼藤九郎他 鳥取県勸業懸宛 明治五年九月 一册

- 690 赤崎宿基本人勸進名簿 倉恒善次郎 勸業社宛 明治六年一月 一通
- 691 金子借用証書 正木平八 勸業社宛 明治六年一月他 二通
- 692 金子借用証書 大森豊次郎 勸業社宛 明治六・七年 一册
- 693 倉吉勸業社基本金借用証文并案 拜借主勸業社基本人 明治六年九月 三通
- 694 三吉鳥取県参事宛 明治六年九月 一通
- 695 儲代金領収証書 五十嵐安貞 倉吉勸業社基本人宛 明治六年九月 一通
- 696 贈賄領収証書 江本甚三郎 勸業社宛 明治六年十月 一通
- 697 倉吉勸業社上納金受取証書 鳥取県中属五十嵐安貞 明治六年九月 二通
- 698 金子借用証書 門脇百造 勸業社宛 明治六年十月 二通
- 699 生蠟借用証 正木平八 勸業社宛 明治七年五月 一通
- 700 (蠟製関係記録) (年月不明) 二通
- 701 拜借金無利年賦返済願 勸業社基本人 鳥取県令三吉周寛宛 明治七年十一月 一通
- 702 拜借金無利年賦返済願 元勸業基本人 鳥取県参事伊集院兼善宛 明治九年二月 一通
- 703 拜借金利子御下ケ願 勸業為替社基本人 齊木太三郎他 明治九年五月 二通
- 704 鳥取県参事伊集院兼善宛 明治九年五月 二通
- 705 拜借金無利年賦返済願 勸業社基本人 戸長・副区長・区長 鳥取県参事伊集院兼善宛 明治九年八月 一通
- 706 拜借金利子納入督促状 第十大区会議所貸付掛 倉吉勸業社基本人 齊木太三郎他六名宛 明治九年九月 一通
- 707 拜借金款額御指合願 勸業社基本人 齊木太三郎他 鳥根県令 佐藤信寛宛 明治九年九月 一通
- 708 伊集院兼善宛 元勸業社基本人 齊木太三郎他 旧鳥取県参事 明治九年十月 一通
- 709 勸業社基本金古証文御下渡願他 倉吉元勸業社基本人 齊木太三郎他六名 代理真宮定七郎 鳥根県令境二郎宛 (拜借証書引替願・地券証書入御 見切願・拜借証文以上四通一括) 明治十一年十一月 一綴

7 その他の出所並出所不明資料

- 710 河村郡宇野村安楽寺關係資料) 710 公儀御用趣并諸願記 当山中興三世恵実 文政十年九月 横帳 一册
- 711 河村郡御差紙目録・大庄屋尾崎文五郎・浦島利平 明治五年正月 横帳 一册
- 712 河村郡御差紙目録・大庄屋尾崎文五郎・浦島利平 明治五年正月 横帳 一册
- 713 河村郡民事所立御勘定目録 (明治四年分) 明治五年正月 横帳 一册
- 714 河村郡表御勘定目録 (明治四年分) 明治五年正月 横帳 一册
- 715 河村郡表御勘定目録 (明治四年分) 明治五年正月 横帳 一册
- 716 河村郡表御勘定目録 (明治四年分) 明治五年正月 横帳 一册
- 717 河村郡表御勘定目録 (明治四年分) 明治五年正月 横帳 一册
- 718 河村郡表御勘定目録 (明治四年分) 明治五年正月 横帳 一册
- 719 河村郡表御勘定目録 (明治四年分) 明治五年正月 横帳 一册
- 720 河村郡表御勘定目録 (明治四年分) 明治五年正月 横帳 一册
- 721 河村郡表御勘定目録 (明治四年分) 明治五年正月 横帳 一册
- 722 河村郡久留村秋田關係資料) 722 河村郡泊村方才芸者直助他取調口書 文久二年十一月 一綴
- 723 河村郡泊村方才芸者古宿清八口書 文久二年十一月 一綴
- 724 河村郡方才芸一件村役人口書 文久二年十一月 一綴
- 725 (河村郡漆原村にて助谷村みよ織死一件關係者取調口書) (残欠)

- 670 勸業為替商社規則 (鳥取県民事懸掛紙) 明治五年九月 一通
- 671 勸業証券規則書 (年月不明) 一綴
- 672 旧藩札御引替座御出張願 勸業社基本人中 (年月不明) 一通
- 673 勸業社金銀根取帳 明治五年十月 一册
- 674 勸業入社願 藏合勝祿・渡辺弥三郎・稲田長治郎 鳥取県庁宛 明治五年十月 二通
- 675 河村郡橋津村勸業社出張所開設願下書 明治五年十一月 一通
- 676 勸業社泊出張所開設願 泊瀬田徳七・園松嶋清十郎・同山田源平 勸業社宛 明治五年十一月 三通
- 677 金子借用証書 吉川孫十郎 勸業社宛 明治五・七年 一八通
- 678 金子請取証書 岩見栄次郎 勸業社宛 明治五年十一月 一通
- 679 金子借用証書写 牧田五平 勸業社宛 明治五年十一月他 二通
- 680 倉吉勸業社元蠟製魚島并問物商社御任之儀御伺写 勸業社世話方 船木甚市 泉勸業掛宛 奥書鳥取県権参事河野通宛 明治五年十月 一通
- 681 蠟製御趣向銀拝借覚 勸業社基本人 齊木太三郎他 勸業懸福井孝篤宛 明治五年十月 一通
- 682 蠟製仕法何書并蠟製造規則 鳥飼藤九郎他六名 倉吉勸業社基本人中 明治五年十月 二通
- 683 蠟製御銀引渡し帳 福井孝篤 勸業社基本人宛 明治五年十月 一册
- 684 蠟製方勘定引渡書 小田義三郎・福井孝篤 勸業社基本人鳥飼藤九郎 牧田孫三郎宛 明治五年十一月 二通
- 685 蠟製方勘定引渡受取書 倉吉勸業社基本人 齊木太三郎他六名 福井孝篤宛 明治五年十一月 一通
- 686 蠟送り船賃銀請取書写 正木平八 勸業社宛 明治五年十一月 二通
- 687 勸業社泊出張所開設願案 勸業社基本人 泉勸業懸宛 明治六年一月 二通
- 688 勸業社赤崎出張所開設二付建物拝借願 齊木太三郎・桑田勝平 勸業懸宛 明治六年一月 一通
- 689 勸業社赤崎出張所開設届 桑田勝平 泉勸業懸宛 明治六年一月 一通

秋田兵藏・福井久之 明治二年八月 二綴
726 米子天神町長太郎渡海船河村郡泊村湊内にて難船村役人御吟味口書(残欠) 一綴
(年月不明)

727 (石脇村海死人)付泊村佐七郎取調口書(残欠) (年月不明) 一通

(河村郡清谷村谷田関係資料)

728 享和元年河村郡中津村普賢菩薩略縁起写 (年月不明) 一通

729 盗難届 河村郡清谷村伊三郎 浦島利兵衛宛 天保五年八月 一通

730 旅日記覚 清谷村伊三郎 天保十五年七月 横帳 一通

731 公儀御触写(異国船渡来沿岸警備ニ付)伊三郎写 嘉永三年正月 横帳 一通

732 (谷田伊三郎)諸国大地震記録 (年月不明) 一通

733 家相見込極秘伝写 谷田伊三郎写之 文久三年二月 横帳 一通

734 安産祝請覚帳 元治二年四月 横帳 一通

735 離質覚帳 慶応二年三月 横帳 一通

736 小売商名簿相統届控 谷田注炳 河村郡書記内海淡宛 明治廿三年四月 一通

737 諸届綴(失踪者復届届・代替届・寄留届・異動届) 谷田吉藏他 明治廿三年 一通

738 露店呼売菓子小売営業免許鑑札 鳥取県問屋署倉吉分署 谷田注炳宛 明治廿四年五月 一枚

739 土地賃貸料納額告知書 東伯土地株式会社 谷田注炳宛 昭和六・十三年 一通

740 年貢米受取書 本谷田 分谷田宛 (年月不明) 一通

741 谷田権蔵書状 谷田吉藏宛 (年月不明) 一通

742 谷田注炳書状 谷田吉藏宛 (年月不明) 一通

743 谷田吉藏書状 谷田注炳宛 (年月不明) 一通

744 谷田吉藏書状 谷田権蔵宛 (年月不明) 一通

745 矢野浪治書状 谷田権蔵宛 明治廿八年四月 一通

(その他出所不明資料)

746 伯州村分帳 元文二年 横帳 一通

747 因幡国寺社領写 天保二年 横帳 一通

748 因伯郷村石高帳 (年月不明) 横帳 一通

749 八橋郡明細帳 (年月不明) 横帳 一通

750 天保十年因幡分限帳写 岸本小吉写之 安政五年九月 横帳 一通

751 弘化二年因幡西郷村写 明治二年六月 横帳 一通

752 御条目写(農業出精并農民生活取締) 岸田賢蔵写之 弘化五年五月 横帳 一通

753 異国船御手当御船手租取構向又御用意品 嘉永二年四月 横帳 一通

754 御用人田村甚左衛門様御郡役之御教諭之御書写 安政二年八月 横帳 一通

755 諭告写(飯筒略・年具不足・在方御捷・奉公人・無縁者・米 飯無心申族・博奕・河原者の事) 安政二年八月 横帳 一通

756 御触写(子おろしの儀禁止) 安政四年三月 横帳 一通

757 (在方御改正諭告)写(百姓心得・普請人夫職人賃銀定め) 安政五年十二月 横帳 一通

758 棟役并御普請人夫諸職人賃米作料定書写 安政五年十二月 横帳 一通

759 庄屋組頭小頭動向并役料御改正一卷写 安政五年十二月 横帳 一通

760 庄屋組頭小頭動向定書写 安政五年十二月 横帳 一通

761 村役人心付并諸雜費米ニ付定書写 (年月不明) 一通

762 海船川船運上米銀取立方改正触書写 (年月不明) 一通

763 博奕賭ニ付公義御触写 (年月不明) 一通

764 御兩國海岸御警備ニ付触書写 (年月不明) 一通

765 出版条令(木活) 文部省 明治五年五月 一通

766 河村郡田後村年貢免状 吉田安太夫 田後村庄屋・年寄・小百姓中 寛政三年九月 一通

767 河村郡佐美村年貢免状 小谷次右衛門 佐美村庄屋・年寄・小百姓中 文化元年十月 一通

768 (家来御取立願) 河村郡長江村弥十郎 田中誰右衛門・石原正助宛 天保九年四月 一通

769 御小人拝借銀請取証(長瀬村治三郎・羽田吉之進請持として江戸表出立) 弘化二年三月 一通

770 (御救銀拜借願) 借主長瀬村村中・組頭・庄屋・田後村庄屋 万延元年正月 一通

771 長瀬村御小人返上銀請取証 井上林蔵 河村郡大庄屋宛 午正月 一通

772 (諸役賃米書上) (年月不明) 一通

773 (河村久米兼郡役所設置願)控 河村郡舍人谷惣代・難口惣代 明治三年十一月 一通

774 八橋郡大庄屋御用御先状(神戸権少参事他出立の事) 八橋町大庄屋 宿村々庄屋宛 (年月不明) 三月 一通

775 人足差出告状(馬場少風・松尾才治・桜木平次郎・新喜多蔵出 張ニ付) 上崎村郡政所 村々庄屋中 (年月不明) 二月 一通

776 上崎村庄屋先触状(馬場少風様御越しの事) 上崎村庄屋 (年月不明) 一通

777 北方漆原河村草山傍示諭和濟定約書 駒山平一・更田嘉一郎 明治六年四月 一冊

778 第六大区会議所費報告書 第六大区区长上田茂 鳥取県参事伊集院兼善宛 明治九年一月 一冊

779 地券税預り証他受領証綴 勤田中井三郎他 田井山本利八郎・山本市蔵宛 明治二十五年・二十八年 十六通

780 根帳而切願(清谷村梅之助行衛相知れ不中ニ付) 河村郡清谷 村願主宇三郎・年行司・年寄・庄屋 山崎吉太郎宛 嘉永四年七月 一通

781 根帳而付願(宇谷村弥平妻ニ藤津村伊左衛門娘よみヲ貫中ニ付) 宇谷村小頭与八郎・組頭又八 庄屋宇野村寛蔵宛 安政七年二月 一通

782 往来手形(橋津村船頭武七并水子武人) 同村西蓮寺 御閑所御役人衆中 慶応三年四月 箱入 一通

783 往来手形(橋津浦武七并水子四人) 野間武兵衛 浦々御番衆中 慶応四年正月 一通

784 (行路病死者假埋ノ届)控 河村郡長江村庄屋喜兵衛他 孫左衛門・平兵衛宛 天保九年四月 一通

785 賈札造伊兵衛取調一件ニ付御裁許願 久米郡市場村五人組・年寄・庄屋 中井与左衛門宛 天明五年四月 一通

786 高札写(清谷生れ無宿喜左衛門の処刑のこと) 安政四年十月 一通

787 河村郡清谷村嘉助御小人博奕一件書上写 丑六月 一通

788 河村郡上井村丁場ニ於テ博奕一件書上写 (年月不明) 一通

789 年貢米借用証文 長瀬村新六 九郎衛門宛 享保六年十二月 一通

790 嘉永五年子の暮何角書出記 嘉永五年正月 横帳 一通

791 年々取替物記録他 良吉相へ 嘉永五年正月 横帳 一通

792 檜抄出納帳 (年月不明) 横帳 一通

793 奉公人職人日届着帳 安政二年 横帳 一通

794 金子借用証文 中興寺村清助・田後村半二郎 片面村庄屋林右衛門宛 安政六年三月 一通

795 (米立出切手) 武信佐五右衛門 慶応二年十一月 一通

796 長江村音田九良右衛門日記残簡他 (年月不明) 横帳 一通

797 日記覚 明治八年正月 横帳 一通

798 松岡弥吉戦功状(奥州磐城平攻城之節) 松岡弥吉宛(年月不明) 横帳 一通

799 軍功恩賞状写 松岡弥吉宛 (年月不明) 横帳 一通

800 米借用証文 借主金谷村清太郎 金川屋市蔵宛 明治二年四月 一通

801 金子借用証文 河村郡泊宿長次郎 庄屋富三郎宛 明治三年十二月 一通

802 金子借用証文 栄蔵 正木宛 明治五年十一月 一通

803 同志協心社趣意書 山崎直好 明治七年十月 横帳 一通

804 共救社創立広告(残欠) (年月不明) 横帳 一通

805 協救社行義草稿 第一号ノ第十号 (年月不明) 横帳 一通

806 倉吉宿越中町一貫学校寄付願 高木太三郎他・戸長・副区长・区长 明治八年三月 五通

807 (多紀安元医学館学舎止宿教育についての規則) (年月不明) 正月 一通

808 辰秋坊場并抜立帳(附り日雇日勤記) 明治十三年九月 横帳 一通

809 (所有地地備并宛口米書上) 曲・島・米里・上神・寺谷村(年月不明) 一綴
810 婚姻届様式 (年月不明) 一通
811 酒小売直段協定価格表 河村久米八橋酒造業組合 明治廿二年八月 一通
812 寛政六年伯耆国河村郡三徳山三仏寺御縁起写 朝倉権次郎守之 明治廿三年十月 一通
813 伯耆国一宮東社倭人神社附属赤心講社入社員心得書(年月不明) 一冊
814 日露戦争出征中履歴 宇野村後備役中尾坂富藏明治卅七・八年 一冊
815 石原正助・田中誰右衛門書状 長江村住齋藤十郎宛(大洪水報告) 九月 一通
816 吉山林右衛門他書状 田中志摩宛(一ノ宮氏子問題懸念) 六月 一通
817 石田太一書状 桑田藤十郎宛(負債金名儀切替願督促) 九月 一通
818 尾嶋書状 三枝宛 () 二月 一通
819 某書状 (鶴・雉子御用に付) 一通
820 某書状 (赤痢流行のこと) 一通
821 大黒元一郎書状 榎原久治郎宛(乗組員雇入規則改正、船積荷賃銭の事) 明治廿二年二月 一通
822 池田光伸御内書(新五郎抱瘡見舞ニ付) 村上伊織宛(年月不明) 五月 一通
823 池田光伸御内書(道中見舞ニ付) 村上伊織宛(年月不明) 六月 一通
824 池田光伸御内書(伯耆守官位祝儀ニ付) 村上伊織宛(年月不明) 正月 一通
825 池田新五郎(綱清)御内書(抱瘡見舞ニ付) 村上伊織宛 五月 一通
826 池田齊訓知行充行状 池田因幡守齊訓 隠岐榮輔宛 天保九年八月 一通
827 年頭御札順席帳写 大和屋 嘉永四年五月 一冊
828 野間武兵衛書状 早川卓之宛宛(長瀬村戸崎宅打崩し一件) 文久元年正月 一通
829 戸次平兵衛書状 早川卓之宛宛(長瀬村一撥罪人取扱い他) 文久元年正月 一通
830 制服雛形(新政府役人) 明治元年十一月 一冊
831 上籍法写 京都府 明治元年十一月 一冊
832 833 邑美郡久米村半四郎定米帳 組頭幸左衛門他 西尾勘兵衛宛 文化元年十二月 二冊
834 備中阿賀郡永富村秀藏より奥会見郡長者原新井手御書請負銀之儀 及歎願候手続 福永文平 西十月 一冊
835 教意居士初盆追善南条系因口説(初切) (年月不明) 横帳 一冊
836 篤姫山内先生碑銘 細田謙藏撰 (活字) (年月不明) 六枚
837 (寄付金并月牌料等受納証綴) 本園寺・法華寺 鹿島八郎右衛門・鹿島久藏宛 延享元年三月 六通
838 五ヶ条御誓文写 (年月不明) 一通
839 (因幡志・稲葉氏談記絵図写) (年月不明) 一冊
840 船由来記 八軒尾休藏 文久三年八月 一冊
841 釣鐘の起り(写本) (年月不明) 一冊
842 刀剣の書(写本) (年月不明) 一冊
843 改正日本船路細見記 大阪河内屋刊 天保十三年 木版横帳 一冊
844 関西宿屋手引 大阪船問屋大川組刊 (年月不明) 木版横帳 一冊
845 万曆両面鑑 慶応二年 木版 一枚
846 宝玉塵功記全 大阪河内屋発行 嘉永四年六月 木版 一冊
847 (古文書写) (年月不明) 一冊
848 (習字手本) (年月不明) 一枚
849 商売往来 万延元年六月 一冊
850 駿河往来全 久米郡田井村酒屋貞藏 安政六年 一冊
851 制誨之式目 文久三年 一冊
852 東海道往来 万延元年 一冊
853 出雲親世音納札巡願番附 元治元年三月 横帳 一冊
854 黒住教日々家内心得之事 (年月不明) 写・木版 一通
855 神語 出雲大社千家尊福著 明治十年五月 印刷物横帳 一冊
856 三府伝来ナイナイ尽し 音田岩太郎写之 明治十九年五月 一冊
857 古歌写 (年月不明) 一通
858 川柳写 慶応二年 一通
859 仕掛花火目録 慶応元年六月 一綴

8 絵 図 類

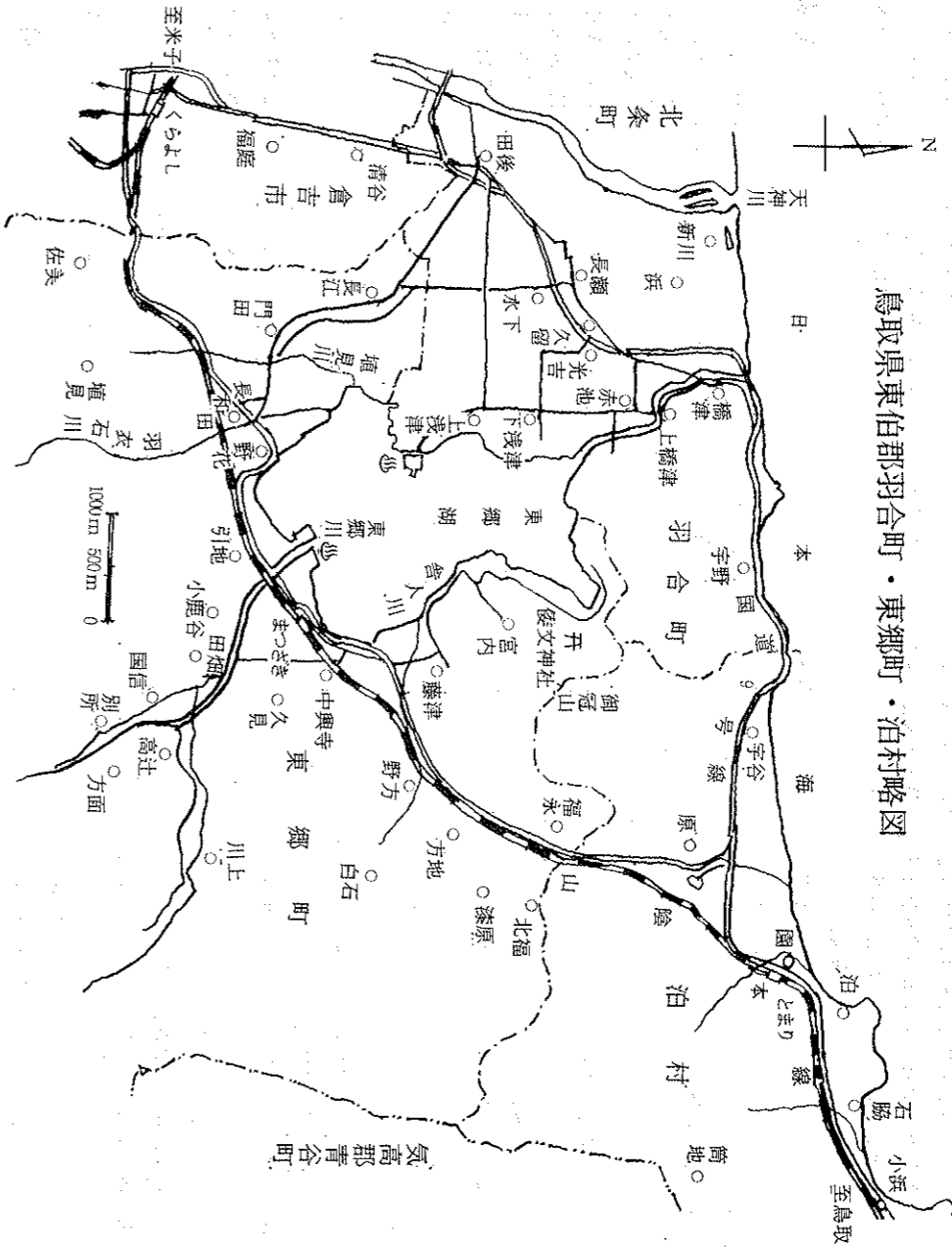
860 河村郡方面村田畑字限絵図面 大庄屋長瀬村戸崎久右衛門撰 天保十五年五月 一冊
861 河村郡田後村田畑地統字限絵図 朝倉権右衛門・年寄・庄屋・改入 嘉永三年六月 一冊
862 河村郡長瀬邑浜畑田成字限絵図 改入・世話方 嘉永七年七月 一冊
863 方地漆原宇谷小浜石脇筒地村見出し惣絵図 分尾崎 慶応四年 六枚
864 宮内村地統図 (年月不明) 一枚
865 宇谷村田畑地統図(部分) 字しやら (年月不明) 一枚
866 地統図 村不明 (年月不明) 一枚
867 橋津藩倉古図 (年月不明) 一軸
868 河村郡田後村絵図 慶応四年 軸物 一軸
869 河村郡東郷村大字小鹿谷村全図 (年月不明) 一軸
870 久米郡下田中村傍示絵図 (年月不明) 一枚
871 岡山県下西大川上流美作国真島郡高田村ヨリ伯耆国久米郡倉吉町ニ至ル車道船路開鑿起工実地見取絵図 (年月不明) (木版) 一枚
872 伯耆国一ノ宮神社拜殿図 (年月不明) 一枚
873 伯耆国大山寺略絵図 (木版) 一枚
874 天神山布施威要書絵図 谷田亀寿写 昭和廿八年五月 一枚
875 正嘉二年松尾社領伯耆国東郷庄下地中分図写 谷田亀寿写(年月不明) 一枚

谷田亀寿市略譜

谷田亀寿氏の略歴をその遺族谷田寿郎氏の資料によって紹介しておく。
明治二十二年十月二十五日 旧東伯郡日下村(現倉吉市清谷)に生まれる。
明治三十八年九月 鳥取県教育会教員講習所修了。
明治三十八年十月 東伯郡日下村役場吏員となる。
明治四十一年四月 東伯郡由良小学校代用教員となる。

明治四十一年十二月 同郡小籠小学校訓導。
明治四十四年十一月 同郡倉人小学校訓導。
大正七年十月 同郡竹田小学校訓導。
大正十一年四月 同郡宇野小学校訓導。
昭和十三年四月より二十八年三月まで 倉吉河北実業学校(後県立河北農業高等学校現県立倉吉産業高等学校)嘱託および講師となる。
昭和二十八年三月 県立河北農業高等学校講師退職。
昭和四十七年九月八日 死去。
二十八年前河北農高退職後は、東伯郡羽合町田後の自宅で郷土史研究、執筆に従事していた。谷田氏の郷土史研究は、教員生活の出発ともにはじまったようだが、昭和四年四月鳥取県郷土史編纂委員になるにおよんで本格的になつたといえよう。その後、
昭和十年三月 東伯史友会副会長。
昭和二十五年と三十一年九月 倉吉市誌編纂委員。
昭和二十七年六月と四十三年五月 鳥取県文化財専門委員。
昭和二十七年三月と四十七年九月 銃砲刀剣登録審査員
昭和四十年九月 羽合町史編纂委員長
を歴任し、この間、四十一年には鳥取県教育表彰、四十二年には生在者叙勲(勲四等瑞宝章)を受けている。
谷田氏の郷土史研究の業績は、『鳥取県郷土史』(昭和七年鳥取県刊)、『倉吉市誌』(昭和三十一年倉吉市刊)などの分担執筆や『倉人小学校沿革史』(昭和七年刊)、『宇野村郷土誌』(昭和十二年二月刊)、『長瀬村利七漂流記』(昭和十三年十月刊)、『羽合町史前編』(昭和四十二年十月刊)などの著作をあげることができる。しかし、これらの著作以外にも、大正四年から五年にかけての伯耆一宮倭文神社、二宮波々伎神社の調査、橋津馬山古墳群の調査、大日寺本堂跡遺構および経瓦の調査、野方庵寺跡の調査、倉吉大御堂庵寺跡の調査、伯耆国東郷庄司原田氏関係文書の調査等多方面にわたる調査研究活動がある。そしてこれらの調査活動の結果や史料採訪ノートも数多く残されており、これらも収集文書とともに貴重な資料であり、今後、これらの保存対策も講じなければならぬと考えている。

鳥取県東伯郡羽合町・東郷町・泊村略図



解説

谷田亀寿氏収集資料は、その大部分が旧河村郡の村々に関係するものであることは先にのべたが、その多くは現在の東伯郡羽合町宇野の分尾崎家、羽合町長瀬本戸崎家にかかわるものであり、他に羽合町田後本椿家、大栄町瀬戸武信家、旧鳥取藩士大塚章造関係文書などがある。

伝来や出所不明の資料が多い中で、倉吉勲業社関係資料は比較的まとまった資料群である。仮目録では、伝来、出所別に資料群を構成し分類したが、それらの主なものについて以下簡単に解説しておく。

イ 分尾崎家(真屋)関係資料

羽合町宇野には、尾崎本家の宇津屋、分家の真屋(さなや)の他、常盤屋、東屋、若葉屋、信屋、亀屋、玉き屋、塩屋などの屋号を持つ尾崎一族の家がある。本家尾崎家は、大内氏の末裔と伝えられ、七代清右衛門が寛政十一年宗旨庄屋、さらに化政期から天保初年にかけて大庄屋となり、郡役人として登場する。次いで九代清右衛門(後文五郎と改む)が安政年間に宗旨庄屋を経て、慶応から明治五年まで大庄屋をつとめている。

同家には一〇〇〇点を越す文書が蔵されているが(その一部が「鳥取県史8 近世資料」で紹介されている)、九代文五郎の代によく整理され保存状況もきわめてよいという。また同家の庭園は真下の名園で昭和十一年国の名勝に指定されている。

分尾崎家は菩提寺の安楽寺をはさんで本家尾崎の東隣りにある。分尾崎は、恵助(後源六)一栄と続き、恵助の代に中庄屋に任命されるが、中庄屋制の廃止とともに庄屋になり、廃藩置県後には副戸長、村長をつとめている。中庄屋としての分尾崎の構は河村郡灘郷・舎人谷(泊村、羽合町、東郷町の一部)で、ここに関する資料が多い。また書状も約二七〇通におよぶが、その内に尾崎清右衛門(文五郎)から尾崎恵助(源六)宛の書状が多くある。それは本家から分家へ、大庄屋から中庄屋、庄屋へ、また大区長から戸長、村長へという関係でのものである。なお本尾崎・常盤屋尾崎のものと思われる資料もこの中に含まれている。

ロ 本戸崎家関係資料

戸崎家は、羽合町長瀬の旧家で、本戸崎、東戸崎の他数家がある。本戸崎は金屋といひ、久右衛門は天保期に大庄屋をつとめ、明治元年には郷士に取立られている。久右衛門の跡が米蔵で、明治二年には歩兵組頭を命ぜられ、農兵を率いて橋津砲台の守備に当たっている。

東戸崎は玉屋といひ、文之右衛門が久右衛門について嘉永期に大庄屋を勤め、浜新田を開発し、酒造業を営み成長していった。本戸崎関係資料の多くは散逸し、その一部が東戸崎家に移ったらしく現在戸崎家文書として数百点の史料が東戸崎家に伝えられており、昭和二十八年近世庶民史料調査で徳永職男委員によって調査・報告されている。谷田氏収集資料は、主として本戸崎家に関する資料である。

ハ 本椿家関係資料

羽合町田後の本椿家も尾崎・戸崎・浦島(倉吉市伊木)と並ぶこの地方の旧家で、岩助の代には大庄屋も勤めていた(安政六・元治元)。しかし同家の資料はほとんど失われたらしく、収集資料の中にも量は多くない。しかし、六二二「八橋郡瀬戸村武信潤太郎之用立金元利計算年々具仕出し」の一綴や八六八「河村郡田後村絵図」(慶応四年)等貴重な資料もある。

ニ 大塚章造関係資料

大塚章造は旧鳥取藩士で、藩士家譜によれば、大塚家は十八代三人扶持の御徒である。章造は大塚家の五代で、嘉永二年代番勤として出仕し、五年には学館教授になっている。安政三年在下吟味役に転じ、文久元年在御普請目付、明治元年新田奉行と歴任する。

廃藩置県後は、鳥取県少属民事懸りを勤め、五年十一月には旧県事務懸りになり、六年四月には「地誌提要編輯御用取調」兼務を申し付けられている。

章造は、安政改革期に地方役人として活躍し、この時期に関する資料は貴重である。しかし、先にのべた章造日記が見当たらないのは残念である。明治九年鳥取県は鳥取県と合併するが、その事務引継資料が若干あるのは、章造の経

歴からして当然といえよう。大塚章造関係資料は、反古として古物商に売られたものの一部を谷田氏が私費で購入されたと聞いている。

木 倉吉勲業社関係資料

勲業社は、旧融通座が明治五年に廃止されたあと、同年七月から十月にかけて、鳥取・倉吉・米子・境・根雨の五カ所に設立される。地方の商人や地主が基本となり、県から設立資金を借り受、産業資金の貸付や製糖事業などを行った。倉吉勲業社は、鳥飼藤九郎ら倉吉の商人が基本となり、設立し、橋津赤崎・泊にも出張所があった。

明治六年二月、県は勲業社に公私を明らかにするよう指示し、勲業社は純粋な民間機関となるが、設立資金の県への返還等もあり、八年ごろには経営不振に陥り、ほとんど廃業してしまふ。勲業社は明治初年の地方金融機関として、県下の産業・経済に大きな役割を果たしたが、その歴史が短かったこともあって研究が進んでいない。

へ その他

以上六群に整理したが、それ以外にも出所伝来が推定できるものが若干ある。河原正兵衛家(水下村)・秋田兵衛家(久留村)は現羽合町で、庄屋・中庄屋を勤めた家であり、武信家は八橋郡瀬戸村の資産家で、中でも武信佐五衛門は幕末の有力者で、一族潤太郎とともに鳥取藩に反射炉を築造し、洋式大砲の製造にかかわった重要な人物である。

武信家関係資料はほとんど散逸して、その所在がはっきりしないが、ここに挙げた八橋郡寺書上は、武信一族が郡役人を勤めていたから、一応武信関係資料としておいた。出所伝来が不明な資料の中にも貴重な資料がある。野間武兵衛・戸次半兵衛の書状は、鳥取藩幕末の状況をうかがわせる好史料であり、橋津藩倉古園等今後検討を要する史料が多く含まれている。

岡嶋家追加資料の調査について

岡嶋家資料の調査については、「資料調査報告書第二集『岡嶋家資料』」(昭和五十年三月、鳥取県立博物館刊)にのべているので、これを参照されたい。

岡嶋家資料仮目録(追補)

306	瑞徳院様御発格次第書	北村廣允	天保十二年七月	横帳	一冊
307	齊訓公葬儀次第書(瑞徳院)		天保十二年九月	横帳	一通
308	中村様襲夷御祈願御供奉被為御出書		(文久三年三月)	横帳	一通
309	水戸様へ御遊御座候内御立退御供立書			横帳	一冊
310	七月御施餼鬼御日割帳			横帳	一通
311	吉岡被遊御出御触書			横帳	一通
312	触書(御発駕差延について)	隠岐久兵衛他三	年不明八月	横帳	一通
313	新待賢門院薨去触書		年不明八月	横帳	一通
314	御発駕年定式年中行司		文政三年七月五日	横帳	一冊
315	御書認方手控写		文政十三年	横帳	一冊
316	北村廣允筆御書控		年不明三月二日	横帳	一通
317	奥到来御礼仰出書		年不明	横帳	一冊
318	京都御仕入呉服書付并直段付			横帳	一通
319	年頭挨拶触書		文政七年	横帳	一冊
320	御在府中北村氏手控		文政八年	横帳	一冊
321	御在府中北村氏手控		天保八年	横帳	一冊
322	御奏者動向諸控		天保十二年七月	横帳	一冊
323	江戸動向心覚写(文化十四年より文政辰三年迄江戸勤中覚)	杉浦清右衛門 北村廣允写		横帳	一通
324	江戸大使道中諸入用租積書上			横帳	一通
325	御家中御触書写(古借銀利子切捨年賦返済・祭礼之節、定人数以外の者操出し法外の働きを禁ず)		年不明九月二十八日	横帳	一通
326	訴状様之物取締違書写			横帳	一通
327	御家中祝言規式改正違書			横帳	一通
328	進上物目録雛形			横帳	一通

勤 仕

学 館 奉 行

329	竹田喜左衛門御高目録引渡兼請取次第書(写)		慶応元年二月二十日		一通
330	(知行格式被仰付之覚書)		安政五年四月十一日		一通
331	(知行格式被仰付之覚書)				一通
332	(学館諸生締合違書)		嘉永五年正月二十五日		一通
333	於学館八十才以上之老人之御目見被仰付節罷出次第之図	嘉永			一通
334	岡嶋勘之丞学館奉行辭職願(下書)	岡嶋勘之丞	(安政三年)		一通
335	(学館改革に関する藩主申渡書写)	(学館文武幣風取締)	年不明		一通
336	学館諸生取扱心得覚		年不明八月七日		一通
337	学館講式場掟				一通
338	学館学風御定書				一通
339	学館改革意見書集				一通
340	学館書籍拝借心得				一通
341	学館講釈稽古日割表				一通
342	(学館奉行之申渡書)	(学館増築のこと・学館用紙等支給のこと他)	学館奉行宛		四通
343	(学館御用書付写)				七通
344	学館関係諸事覚書				六通
345	学館御用覚書				二通
346	(学館行事覚書)				一通
347	学館正月二十日御開庭御手続				一通
348	学館より褒賞被遺覚書				一通
349	学館戊午亥年出席当年解怠名前書上				一通
350	(学館諸生格別出精褒賞上申書)				一通
351	(追鳥狩拜見)申合之条目・御狩之節御合図				三通

本号に集録した岡嶋家資料は、四十九年の調査以後に発見された資料で、当館が収蔵することになったものである。したがって、これについての報告は資料調査報告書第二集の追補である。

今回の調査で、前回の報告を一部訂正しなければならないところも生じたが、これについては後述する。また今回の岡嶋家資料仮目録追補は当然前回の仮目録と一緒に分類配列しなければならぬが、これについては後日に譲ることとした。尚資料の性質から、1文書・記録、2書籍、3什器の三編に大別して仮目録を作成した。

本報告書に収録した岡嶋家資料のうち、文書・記録は主として岡嶋家八代勘之丞(後、簡・正簡と改む)に関係するものである。

勘之丞は、弘化四年(一八四七)九月、名代勤学館奉行助を命ぜられ、嘉永四年十一月には学館奉行に昇格している。安政三年正月病氣を理由に辞職を願うが、同年四月には御普請奉行に就任している。資料の多くは学館奉行、普請奉行を勤めていた間の学館・作事場に関するものである。

この期間は、幕末の藩政改革期であり、特に普請奉行の時代には、足軽制度の改革があり、それに関する資料も含まれており貴重なものである。

隠岐国取締関係資料は、明治元年十一月六日、「隠岐国取締之儀松平出羽守之被仰付置候趣、今度被免追て知事事被置候迄当分其藩之取締被仰付候間出羽守ヨリ受取可申事」と鳥取藩が管轄することになり、十一月当時御側御用人であった勘之丞が隠岐国受取のため同島へ出張し、翌二年五月帰国した事に関係した資料である。報告書第二集の2書籍の七十二番から七十七番の資料と一連のものである。

また、報告書第二集十九頁に「因藩野史(七冊) 因府歴年略史(七冊) 霜眉隨記(五冊) は、藩史編纂所による写本がある。したがって、明治末期まではそれぞれの原本が別々の写本が残されていたはずであるが、その辺の事情は明らかではない」とのべたが、今回の追加資料の中に「因藩野史」(四冊)、「因府歴年略史」(七冊)著者自筆の稿本が含まれており、「因藩野史」「因府歴年略史」とも完全な形で著者自筆本が伝えられていたことになる。

追加資料の中に「因藩民談記」(十冊)と「因藩志」(三十冊)がある。因藩民談記には筆記の部に一冊欠本があり、因藩志には古墳の部・武器之部・雑物之部等が欠落しているが、それにしても比較的良好に残っている写本であるから、これらを今後岡嶋写本とよぶことにしたい。

352 御前ニテ会説之次第書同控
 353 学館教授被仰付書
 354 岩越次郎兵衛門人名前書上
 355 景山庵造学館教授仰付書下書
 356 (算術家岡本助三郎内弟子願差戻状) 学館奉行
 357 宗門手形 (岡本助三郎) 淨覺寺 唯權太夫・岡嶋勘之丞宛 嘉永五年八月
 358 学館御座敷奉行御免仰付書 富山吉之進宛 年不明
 359 学館水書被書届 高田太平次 年不明九月
 360 (学館通用御門前土橋を石橋に掛替願届) 年不明
 361 (学館近辺出火之節家中之者心得覚控) 年不明
 362 圖書・五経彫刻料書上
 363 学館御書物作廻同所御目付下役御役料ニ付仰出書 年不明
 364 笹山振徳堂積尊供物写本 年不明

普請奉行

365 御作事一手御役人以下迄根帳 安政五年正月 横帳 一册
 366 御作事手并割場手御役人・小頭名前 文久三亥年二月 横帳 一册
 367 御作事場御役人名前書上 横帳 一册
 368 惣足輕諸番所并下奉行小使等動口控 横帳 二册
 369 御作事場御役割書 横帳 一册
 370 職名再改正達書 横帳 一册
 371 御作事場所諸役人任免書 横帳 一册
 372 諸職人格式書上 横帳 一册
 373 御門番人覚書写 安永四年九月・天明六年正月 横帳 一册
 374 江戸御番被仰付役人名前覚書写 天保 横帳 一册
 375 明曆以来御城代名前書付写 寛文七年九月・天保八年九月 横帳 一册
 376 塵芥取捨趣向上申書 横帳 一册
 377 御鉄炮御旗御長柄給米御改定に付上申書写 年不明 横帳 一册
 378 (惣足輕炮術修行場所御小屋掛に關する上申書控) 年不明 横帳 一册

379 惣御鉄炮御長柄足輕御支配取扱に付上申書控 年不明正月 横帳 一册
 380 岡嶋勘之丞上申書 (案) (御城御手懸り場所御普請について) 横帳 一册
 381 (大砲小頭へ御支配等御渡物内窺) 年不明十月十四日 横帳 一册
 382 (作事場足輕・三職人仕役改方伺書) 春造 横帳 一册
 383 (御家中長屋の日雇賃持合仕法伺書) 案 横帳 一册
 384 惣足輕御改革御仕法書写 文政元年五月 横帳 一册
 385 (諸役場縮合仰出書) 年不明 横帳 一册
 386 御普請目付動向御定 (下書) 年不明 横帳 一册
 387 日雇賃持等組合之次第書写 年不明 横帳 一册
 388 御作事手 (勤方) 御達書 (下書) 文政元年五月 横帳 一册
 389 御作事御役人動向御定写 文政元年五月 横帳 一册
 390 足輕勤方縮合達書 横帳 一册
 391 (家中長屋の日雇の者へ申渡の条々) (家中長屋の日雇稼者を夫卒として使うことについて申渡し条々) 八通
 392 (御家中へ申渡写) (袋川土手筋拜領屋敷外溝の垣手厚にいたすべき事) 一通
 393 (日雇の者之仰渡書写) (近來海外不穩、たとえ日雇の者たりとも御恩恩を報じ死力を尽すべきこと) 一通
 394 城下町裏の日雇賃持等別人別取調方 二通
 395 諸職人・作料・日雇賃銀ニ付被仰出之写 安政三亥年七月二十七日 一通
 396 御抱大工夫持覚書 享保十三年 一通
 397 御抱大工御支配給書付 一通
 398 御小人夫持給覚書 一通
 399 (御小人御夫持給覚書) 一通
 400 (智頭・用瀬・若桜御目付下奉行御扶持渡方覚書) 亥十一月二十四日 一通
 401 惣小頭并御足輕御渡し物拜借等之控 年不明 横帳 一册
 402 惣足輕名目算當改メ方について伺 年不明六月 横帳 一册
 403 惣足輕根帳并他御支配江戸給ともに御渡高控 横帳 一册
 404 御破損加奉行以下定下奉行迄動向書 横帳 一通

405 高草郡荒田村廿四字小乱城御田畑御年貢并地所直段帳 安政四巳年閏五月 横帳 一册
 406 米銀借用利下并他国貸借停止御触出し写 年不明卯三月二十八日 横帳 一通
 407 臨時古海御調練御苑場溜り小屋御新建御入用清帳離形 横帳 一册
 408 御鉄炮小頭足輕共惣人数書上帳 横帳 一册
 409 御作事仕出し御入用清帳離形 横帳 一册
 410 漆原七右衛門二男利蔵御取立願控 漆原七右衛門 嘉永七年 一通
 411 横田勇平格式御取立願写 安政三亥年十月 一通
 412 山本平次家系御取調願 万延二年二月 一通
 413 御職人御取立願 安坂兼吉 御作事御役所 文久三亥年十一月 一通
 414 (永井孫七家格操上願) (大工棟梁より御弓徒御操上) 大工棟梁永井孫七 文久三亥年十一月 一通
 415 浜田又右衛門御礼席操上願 浜田又右衛門 文久三亥年十二月 一通
 416 苗字付御取立願 割場番人又蔵 文久三年十一月 一通
 417 増左衛門申立控 一通
 418 御鉄炮足輕御召出し願控 市右衛門 年不明二月 一通
 419 御役所勤替願控 久四郎 年不明四月二十七日 一通
 420 井中久左衛門御用勤御付状 年不明四月二十七日 一通
 421 (御鉄炮芳蔵転居届済之覚) 控 年不明二月十九日 一通
 422 龍作兵衛忌服願 太田久四郎 年不明三月二十一日 一通
 423 御鉄炮足輕七三郎掃圍延引委細書 箕浦近江預り小山源蔵 一通
 424 御鉄炮足輕伊左衛門自害願末書 年不明三月二十一日 一通
 425 御鉄炮足輕安治郎永之御暇願末書 一通
 426 (御鉄炮屋敷御建地物成調) 控 一通
 427 御普請出来所引渡等伺控 二通
 428 御普請手問請負入札ニ付沙汰書 一通
 429 二ノ御丸御住居統取取ゲニ付達書控 嘉永元年正月 一通
 430 御本丸御殿御上棟御納御規定式相動候次第 年不明七月二十三日 一通
 431 (御普請材木代并ニ、大工・屋根屋等支配入用出目積り帳) 横帳 一册
 432 御鉄炮小屋并不浄所御新建御入用銀書上 二通

433 江戸御屋敷御建御建前粗御入用銀高書上并絵図 横帳 一通
 434 (御普請諸入用覚書) 年不明 八通
 435 御普請用資材直段書付 五通
 436 五月十四迄調之杉・栗材當時有辻書上 一通
 437 (御建山未納木材書上) 一通
 438 (材木町嶋屋源次郎材木売買一件問書) 二通
 439 材木屋仕入御仕法 天保四巳年三月十九日 一通
 440 大森瓦場西年取支書上 横帳 一通
 441 荒田赤瓦年々払出し代盛并絵図 横帳 一通
 442 安政五年より文久三年迄荒田瓦場瓦出来高御入用等差引粗調書 三册
 443 御城下絵図下書 横帳 三册
 444 米子城下略図 弘化二年 一枚
 445 御寝所向御絵図面 一枚
 446 三ノ丸御奥御茶室御押入之図 一枚
 447 御広式御式台絵図面 一通
 448 宝隆院様御殿御門御番所建繕小使部屋煮焚所建繕絵図面 一枚
 449 寿仙院住居絵図面 一枚
 450 御普請場平面図 二枚
 451 御普請所御建御建物平面図 一枚
 452 柳蔵御物見之図 文久二年九月十七日 一枚
 453 古海御茶屋之図 一枚
 454 古海御茶屋明キ御小屋絵図面 一枚
 455 行徳近辺地図下書 年不明 一枚
 456 懸出し橋製図 一枚
 457 興禪寺図面 一枚
 458 (慶安寺法事之節通行口ニ付願) 慶安寺 安政六未年五月二十二日 一通
 459 文久元年因・伯人口調書 文久元年 一通
 460 甲冑拜借願 遠藤六次郎他 岡嶋勘之丞・山本半太夫他宛 (元治元年) 子六月 三通
 461 (大筒頭被仰付節の手控) 北村理兵衛 文久三亥年六月十三日 横帳 一册

- 462 鉄抱齋古玉葉割當書付 年不明 一通
- 463 襲詞状 年不明三月十八日 一通
- 464 御達書・御答書送達覽 年不明三月十八日 一通
- 465 屋敷境界裁許願(吉方傍示) 木村 御役人宛 一通
- 466 岡嶋権参事休暇届書 事務取扱 岡嶋権参事宛 年不明十二月十二日 一通
- 467 朝廷之御書出し相成候節之兵隊人員区別書写し 明治二巳年四月 一通
- 468 会計指令書および書上(養老典として八十八才以上の者報告すること) 会計官 明治二巳年二月 三通
- 469 道中旅費覚写(鳥取—境港) 年不明 五通
- 470 宇倍神社新嘗祭幣使通行ニ付通達下書 年不明 一通
- 471 元貨幣兩換停止後之取扱について返答下書 明治四年辛未 一通
- 472 調査依頼書(被告人茅原某喚起状受取についての事実調査) 鳥取治安裁判所 倉吉警察署橋津分署宛 明治十一年八月十一日 一通
- 473 鳥取県士族石井方淑履歴書(八上・八東・智頭郡役所履) 明治十八年六月十五日 一冊
- 474 石橋普請見積書 沢川徳五郎 中嶋勘七宛 明治廿一年十月三日 一通
- 475 官有草生地拝借願(案) (格・三ツ股植付地) 明治二十六年 一通
- 476 (済々舎拡張)義捐金募集趣意書 済々舎 山本頼雄 明治二十六年一月 一通
- 477 伝染病患者診断届 医師菅原栄徳 鳥取県知事宛 明治廿六年九月 二通
- 478 (士族卒席止之者救助款願書)下書 (明治五年) 二通
- 479 明治六年布達写 鳥取県 明治六年 一通
- 480 太政官布告二百八十四号写(県庁への諸願届書の宛名書等雛形) 鳥取県 一通
- 481 (鳥取県布告写) 山住啓敬 年不明八月二十六日 一通
- 482 陸上製塩関係書付 年不明 二通
- 483 明治三十六年略歴 大阪東区博労町中井徳次郎 一通
- 484 岩美・八頭郡及兵庫東西部略図 明治三十五年十一月十二日 一枚
- 485 (隠岐国引継関係史料) 隠岐国取締岡嶋勘之丞 八通
- 486 明治元年布告書頭取書(雲州取締役より相頼候ニ付) 明治元年 一通
- 487 山陵御警衛仰付願 海士村年寄佃浜右衛門他 御役所宛 明治二巳年二月 一通
- 488 誓旨(赤心報國之志願)写 一通
- 489 松平出羽守御預所隠岐国村々家人別差引書 明治元年 一通
- 490 慶応元年丑年御勘定目録 松平出羽守 一冊
- 491 隠岐国村々飢扶持御勘定目録 井御備銀去卯十二月有高書付 明治元年 一冊
- 492 隠岐国兩嶋存命流入帳 明治元年 一冊
- 493 隠岐州嶋後船積荷物別取立帳 慶応三年九月より明治元年辰五月 一冊
- 494 隠岐州嶋前船積荷物別取立帳 慶応三年九月より明治元年辰七月 一冊
- 495 隠岐国嶋前・嶋後寺院判鑑帳 慶応三年三月 一冊
- 496 隠岐州嶋後越智郡津戸村真言宗門御改証憑帳 慶応三年三月 一冊
- 497 隠岐州嶋後越智郡津戸村浄土宗門御改証憑帳 慶応三年三月 一冊
- 498 知夫里郡別府村五人組御仕置帳 慶応三年正月 一冊
- 499 大社御造管開材木員数并ニ都万・上西郡久三村公文書 元治二年正月 一冊
- 500 御船餅餅入用并船頭船大工御給米御扶持方証文写 津戸・船木・豊田三ヶ村船渡し料引高証文之写 享保六年十月 一冊
- 501 隠岐国知夫里郡別府村牛馬御改帳 慶応三年一月 一冊
- 502 隠岐国海士郡知夫里郡村々御林帳 明治元年 一冊
- 503 問屋証文写(他国船宿并商売人宿之条目) 知夫里郡別府村年寄品三郎・庄屋仙右衛門 足羽雄左衛門宛 慶応三年正月 袋入 一冊
- 504 隠岐州越智郡津戸村宗門帳(越智郡津戸村卯年増人減人御改帳・越智郡津戸村宗門寄目録) 慶応三年卯三月 二冊
- 505 隠岐嶋前知夫里郡浦郷村文次郎怪我死始末 明治二巳年二月 横帳 一冊

御用状

- 506 御用状(八十八才余ニ相成者於学館御目見被仰付) 荒尾駿河 岡嶋勘之丞宛 嘉永五年四月二十七日 一通
- 507 御用状(急上京につき御供ニ無之面には御留守相守動揺なきこととを命ず) 荒尾駿河 岡嶋勘之丞宛 (文久三年)六月十四日 一通
- 508 御用状(臨時之節屯所勤之面々之通達) 荒尾駿河 岡嶋勘之丞宛 年不明六月十五日 一通
- 509 御用状(時勢及切迫ニ付て心得仰出) 荒尾駿河 岡嶋勘之丞宛 年不明六月十五日 一通
- 510 御用状(四變磨様御誕生諸事取扱について) 荒尾駿河 岡嶋勘之丞宛 文久三年六月二十五日 一通
- 511 御用状(御警衛詰被仰付節之略ニ付いて通達) 荒尾駿河 岡嶋勘之丞宛 年不明八月六日 一通
- 512 御用状(岡嶋儀三右衛門疏黄相調献上願出許可) 荒尾駿河 多田嘉七郎宛 安政六年十一月十八日 一通
- 513 御用状(学館御用日について通達) 荒尾駿河 岡嶋勘之丞宛 年不明四月十二日 一通
- 514 御用状(本牧海岸詰手当について) 荒尾但馬 岡嶋勘之丞宛 安政元年正月十八日 一通
- 515 御用状(本牧御警衛) 荒尾但馬 岡嶋勘之丞宛 安政元年正月十二日 一通
- 516 御用状(御供揃ニて学館為入、麻上下着用のこと) 荒尾但馬 岡嶋勘之丞宛 年不明三月四日 一通
- 517 御用状(養子願手続について通達) 荒尾但馬 岡嶋勘之丞宛 年不明三月五日 一通
- 518 御用状(鷹司様輝若様薨去ニ付御機嫌伺書状差越可旨) 荒尾但馬 岡嶋勘之丞宛 年不明十月十七日 一通
- 519 御用状(御具足祝につき馬潤官兵衛下役へ申渡) 荒尾但馬 年不明正月十日 一通
- 520 御用状(御掃城途中御帶京可被成旨通知) 荒尾千葉之助 岡嶋勘之丞宛 年不明正月二十日 一通
- 521 御用状(御端書頂戴之御礼可被差越旨通達) 荒尾千葉之助 岡嶋勘之丞宛 年不明二月十五日 (控トモ) 二通
- 522 御用状(御免駕御欲之節着衣について) 荒尾千葉之助 岡嶋勘之丞宛 年不明十月五日 一通
- 523 御用状(御前様之年頭五節句御礼御款ニ付通達) 荒尾千葉之助 岡嶋勘之丞宛 年不明十二月二十日 一通
- 524 御用状(学館関係通達) 荒尾千葉之助 岡嶋勘之丞宛 年不明 二通
- 525 御用状(白井重之進御留守中普請方被仰付旨) 荒尾千葉之助 岡嶋勘之丞宛 年不明十月十日 一通
- 526 御用召状 荒尾千葉之助 岡嶋勘之丞宛 年不明十二月二十七日 一通
- 527 御用召状 荒尾千葉之助 岡嶋勘之丞宛 年不明十月三日 一通
- 528 御用状(学館教授助御褒美通達) 池田兵庫介 岡嶋勘之丞宛 年不明十二月二十七日 一通
- 529 御用状(学館諸生温書出精の面々へ褒美のこと) 池田兵庫介 岡嶋勘之丞宛 年不明十二月二十七日 一通
- 530 御用状(岡本助三郎算術家被仰付旨通知) 池田兵庫介 岡嶋勘之丞宛 年不明十二月二十一日 一通
- 531 御用状(学館火鉢入用炭増炭について) 池田式部 岡嶋勘之丞宛 年不明二月十八日 一通
- 532 御用状(学館付之者共支配仰付) 池田式部 岡嶋勘之丞宛 年不明 一通
- 533 御用召状 池田日向 岡嶋勘之丞宛 年不明十二月二十一日 一通
- 534 御用状(朔望御礼之平服たるべき事通達) 鶴殿大隅 岡嶋勘之丞宛 年不明九月二十九日 一通
- 535 御用召状 鶴殿大隅 岡嶋勘之丞 年不明八月二十二日 一通
- 536 御用状(御簾中様御逝去に付、諸事穩便に致し御普請今日迄停止) 池田日向 岡嶋兵太郎・岡嶋五郎右衛門宛 年不明七月九日 一通

537 御用状 (池田兵庫介御役御免被仰付通知) 池田兵庫介 岡嶋 勘之丞宛 (文久元年) 十月七日 一通

538 御用状 (学館に於て高齢者御目見被仰付こと) 吉村牧右衛門 嘉永五年四月二十八日 一通

539 御用状 (家館御用) 北村理兵衛 唯権太夫・岡嶋勘之丞宛 年不明十二月二十一日 一通

540 御用状 (学館御籠交替通達) 卯兵衛 岡嶋勘之丞宛 年不明五月二十八日 一通

541 御用状 (御差紙引替相済・銀札請取のこと) 石井平太夫 岡嶋勘之丞宛 年不明七月五日 一通

542 御用状 (学館書物引渡勘定について) 伊藤平録・田淵寛一 岡嶋勘之丞宛 年不明十二月二十七日 一通

543 御用状 (西五位様御屋敷御転住) 上山庄次 岡嶋勘之丞宛 年不明二月 二通

544 御用状 (学館疊修理請状) 岡野録之丞 岡嶋勘之丞宛 年不明四月十三日 一通

545 御用状 (学館諸生月調函二月分一巻差出しについて) 岡村喜兵衛 岡嶋勘之丞宛 年不明三月八日 一通

546 御用状 (欽定三礼義疏等の書物御用済につき返却) 落合金之助 岡嶋勘之丞宛 年不明九月二十五日 一通

547 御用状 (切紙一通送達) 桑田重蔵 唯権太夫・岡嶋勘之丞宛 年不明十二月二十六日 一通

548 御用状 (内匠頭発駕につき川固のこと) 中村宗兵衛 岡嶋勘之丞宛 年不明七月十日 一通

549 御用状 (兵学出精書・御合図出精書の三通を送付したこと) 馬淵官兵衛 岡嶋勘之丞宛 年不明 一通

550 御用状 岡嶋勘之丞 荒尾駿河宛 年不明 五通

551 御用請状 岡嶋勘之丞 荒尾駿河宛 年不明 六通

552 御用請状 岡嶋勘之丞 荒尾千葉之助宛 年不明 三通

553 御用請状 岡嶋勘之丞 池田兵庫介宛 年不明 三通

554 御用請状 岡嶋勘之丞 池田式部宛 年不明八月 一通

555 御用請状 岡嶋勘之丞 鴛殿主水之介宛 年不明 四通

556 御用請状 和田平太夫 岡嶋勘之丞宛 年不明六月十四日 一通

557 御用請状 (藩主の学館臨館準備) 牧野七平 岡嶋勘之丞宛 年不明六月十三日 一通

558 御用請状 大森敬蔵 岡嶋勘之丞宛 年不明八月十四日 一通

559 御用請状 (高野市郎悖八太郎案隊仰付につき) 大工棟梁高野市郎 年不明十一月七日 一通

560 御用請状 (在下吟味役加役仰付) 田村夫右衛門 561 御差紙 (安斎草書取写の美濃紙巻束御渡し) 562 回状 (荒尾近江縁談の決定) 岡嶋勘之丞 久兵衛他宛 年不明正月二十九日 一通

書 状

岡嶋勘之丞 (正脩) 関係

563 書状 北村理兵衛 北村広允宛 二通

564 書状 (普請関係) 野間鹿蔵 岡嶋勘之丞宛 (元治元年) 八・九月 九通

565 書状 野間鹿蔵 岡嶋勘之丞宛 (元治元年) 八・九月 九通

566 書状 (梅状) 野間鹿蔵 岡嶋勘之丞宛 年不明七月十九日 三通

567 書状 (田村) 岡嶋勘之丞宛 一通

568 書状 (水戸一揆について) 安達清一郎 (山下) 豊雄・(中島) 嘉助・(森) 佐左衛門宛 (元治元年) 十二月十日 一通

569 書状 (年賀状) 安達清一郎 岡嶋勘之丞宛 年不明正月十五日 一通

570 書状 (軍法取調ほ相済、とりあえず上巻のみ清書差出すこと) 溪大録 学館役所当番宛 年不明五月十五日 一通

571 書状 (大工手問合せまわしてほしい他) 白井重之進 岡嶋勘之丞宛 年不明五月十七日 二通

岡嶋正潔関係

572 書状 (欠勤ことわりがき) 伊丹造酒之助 岡嶋勘之丞宛 年不明十一月二十四日 一通

573 書状 (旧墨鬘覽借用(写) 札状) 土肥謙蔵 岡嶋勘之丞宛 年不明十月二十九日 一通

574 書状 (海岸警衛取調書落手通知) 北垣晋太郎 岡嶋勘之丞宛 年不明正月七日 一通

575 書状 (年賀) 石井平太夫 岡嶋勘之丞宛 年不明正月七日 一通

576 書状 (二位公之の款顔を一覽の上よろしければ調印してほしい) 河崎(真胤) 岡嶋(勘之丞) 宛 年不明九月十八日 一通

577 書状 (年賀) 船之輔 岡嶋勘之丞宛 年不明正月二十三日 一通

578 書状 (留守中の家のこと依頼・江戸の近況報告) 伝蔵 岡嶋勘之丞宛 年不明四月二十三日 二通

579 書状 (京都表へ出立通知) 弥次兵衛 岡嶋源之丞宛 年不明十一月七日 一通

580 書状 (借用書籍返却のこと) 俊敬 (岡嶋) 先生宛 年不明四月十日 一通

581 書状 (年賀) (山下) 判事 岡嶋勘之丞宛 年不明正月二十五日 一通

582 書状 岸某 (医師) 岡嶋勘之丞宛 年不明二月十三日 一通

583 書状 (梅状) かわせ 岡嶋勘之丞宛 年不明 一通

584 書状 木村某 役人宛 年不明八月廿四日 一通

585 書状 年不明 一通

586 書状 (政之丞) 岡嶋勘之丞宛 佐善修蔵 岡嶋正修宛 年不明 (明治六年) 一通

588 書状 (浦富墓所参詣について) 鴛殿長道 岡嶋勘之丞宛 年不明十一月二十九日 一通

589 書状 (欠勤届) 鴛殿 岡嶋勘之丞宛 年不明九月十六日 一通

590 書状 須知 岡嶋勘之丞宛 年不明十一月十一日 七通

591 書状 (出勤をうながす) 角田捨蔵 岡嶋勘之丞宛 年不明四月六日 二通

592 書状 山下 岡嶋勘之丞宛 年不明四月六日 一通

593 書状 (塩関係) 陸上出張所佐野君郷 岡嶋正潔宛 年不明九月四日 一通

594 書状 (共益社製塩関係) 野辺伝七 岡嶋正潔宛 一通

595 書状 (共益社製塩器械について) 野辺伝七 共益社佐野君郷宛 年不明六月二日 一通

596 書状 (製塩進上のこと) 名村左太夫 年不明十一月朔日 一通

597 書状 (製塩売却・金策依頼) 岡嶋正潔 (大坪) 正武 年不明十月三十日 一通

598 書状 (旧自由党拘引について) 宮崎貞蔵 岡嶋正潔宛 年不明十一月二十四日 一通

599 書状 森重太郎 岡嶋勘之丞宛 年不明二月十九日 一通

600 書状 井上善一郎 岡嶋正潔郡長宛 年不明二月十九日 一通

601 書状 (町村制下調会出席了承) 上原精一 岡嶋正潔宛 明治二十一年十一月二十四日 一通

602 書状 富山振五郎 岡嶋正潔宛 年不明十一月二十四日 二通

603 書状 (所得税調査委員会の開催について) 富山振五郎 岡嶋正潔宛 年不明一月十一日 一通

604 書状 大嶋常蔵 岡嶋正潔宛 年不明 一通

605 書状下書 (和歌添削依頼) (岡嶋正義) 年不明 一通

606 書状下書 岡嶋(勘之丞) (土肥) 平太夫宛 年不明 一通

607 (書状下書) 岡嶋勘之丞 (明治三年七月) 一通

武 芸

608 日置流弓許之伝書 野崎八郎兵衛 岡嶋勘之丞宛 文政四年三月二十八日 卷子 一卷

609 門明流剣術目録 定保 今井鉄七宛 天明三年 卷子 一卷

610 関口流柔術誘引書 石原仲夫 岡嶋敏行宛 明治廿五年二月十一日 卷子 一卷

611 大坪流馬術初段伝書 新藤久蔵 岡嶋儀三郎宛 文化五年十月 卷子 一巻
 612 大坪流馬術初段之第一 新藤重之丞 岡嶋勘之丞宛 文政十年正月 卷子 一巻
 613 大坪流馬術初段 新藤重之丞 岡嶋幸太郎宛 文政十三年 卷子 一巻
 614 大坪流馬術初段 新藤幾之助 岡嶋源之丞宛 慶応四年九月 卷子 一巻
 615 大坪流馬術初段 山田元 岡嶋勘一宛 明治三年五月 卷子 一巻
 616 大坪流馬術中段究理之巻 山田元 岡嶋勘一宛 明治三年五月 卷子 一巻
 617 大坪本流伝書目録 那須番次郎 岡嶋勘一宛 明治三年八月 卷子 一巻
 618 秘密法 山本則勝入道 寛政二年四月 卷子 一巻

619 下門尾村孝夫塚祭礼有免願(下書)
 620 岡嶋家檀那寺龍華院心控
 621 所得税減額更定書 鳥取県知事西村亮吉 岡嶋正潔宛 明治二十五年三月七日 一通
 622 大地震出火年代記 座石堂梓 安政二年十月 一通

書籍

118 因幡志第一 安部恭庵 写本
 因幡志第二 巨濃郡本末
 因幡志第三 法美郡
 因幡志第四 八上郡
 因幡志第五 八東郡
 因幡志第六 智頭郡
 因幡志第七 邑美郡
 因幡志第八 高草郡上・下
 因幡志第九 氣多郡
 因幡志第十 神社之部
 因幡志第十一 神社之図
 因幡志第十二 仏閣之図

因幡志第十三 仏閣之図
 因幡志第十四 名所之部
 因幡志第十五 勝地之図
 因幡志第十六 国守考
 因幡志第十七 古城之部
 因幡志第二十一 筆記之部
 因幡志第二十五 歴世考
 119 因幡志 郡郷氣多郡 写本
 因幡志 武器図式
 因幡志 雜物図絵
 因幡志 筆記之部
 因幡志 歴世考
 120 因幡民談一卷 山川国城・古城図 小泉友賢 写本
 因幡民談二卷 郡郷
 因幡民談三卷 神社仏閣
 因幡民談四卷 国主之上
 因幡民談五卷 国主之中
 因幡民談六卷 国主之下
 因幡民談七卷 古書
 因幡民談八卷 名所
 因幡民談九卷 筆記之上
 因幡民談十一卷 詩歌拾遺
 121 因府歴年略史 寛永七年—貞享二年 岡嶋正義
 因府歴年略史 貞享三年—元禄十三年
 因府歴年略史 元禄十四年—元文四年
 因府歴年略史 正徳元年—享保四年
 因府歴年略史 享保五年—享保十四年
 因府歴年略史 享保十五年—元文四年
 因府歴年略史 元文五年—延享五年
 122 因藩野史 寛永七年—貞享二年 岡嶋正義

因幡野史五 寛延元年—天明三年
 因幡野史六 天明四年—寛政十年
 因幡野史七 寛政十一年—文化四年
 123 書札集 一卷—十巻 写本
 124 柳營秘鑑 四・五巻 写本
 125 槍刀門(荷海隨筆三) 写本
 126 法美郡吉野村土堂・三谷村観音堂 写本
 127 武家殿制録 卷一—卷四 写本
 武家殿制録 卷五—卷十
 武家殿制録 卷十一—卷十八
 武家殿制録 卷十九—卷二十三
 武家殿制録 卷二十四—卷二十九
 武家殿制録 卷三十—卷三十五
 武家殿制録 卷三十六—卷四十二
 武家殿制録 卷四十三—卷四十六
 武家殿制録 卷四十七—卷四十九
 128 武家殿制録 統編 卷一—卷二
 武家殿制録 統編 卷三—卷六
 武家殿制録 統編 卷七—卷十一
 武家殿制録 統編 卷十二—卷十六
 武家殿制録 統編 卷十七—卷二十一
 129 武家殿制録 後編 卷一—卷四 写本
 武家殿制録 後編 卷五—卷八
 武家殿制録 後編 卷九—卷十

什器

1. 黒漆塗螺鈿硯箱(縁かけ・朱用硯・水差付) 19 x 9 一箱
 2. 葛図時絵硯箱(梨子地・縁かけ硯・水差・筆皿付) 22 x 21 一箱
 3. 漆塗五段重硯(高島玄生石・諸薦石・硯五面・外木箱付) 24 x 10.5 五面

4. 石梁自筆俳句柱懸(木製) 94 x 7.8 一瓶
 5. 重水差(磁器) 高さ8 x 直径8 十四口
 6. 乾漆碗(布製・携用か) 一箱
 7. 楊羽蝶定紋付御用部屋文箱(木製) 28 x 25 一箱
 8. 硯(小型・石)
 9. 判物箱(木製) 四函

後記

- 一、本報告書には、谷田亀寿氏収集資料、岡嶋家資料追補の二件を収めた。二件とも資料仮目録を中心に報告書を構成した。
- 一、仮目録は、整理番号、表題、内容摘記、作成者、宛名、作成年月日、形態量の順で記載した。
- 一、表題は原則として、原表題を採ったが、適宜改変を加えたものも多い。原表題のないものおよび原表題を改変したものには原則として「()」を付した。
- 一、内容摘記は「()」内に記したが、書状等で内容摘記のないものは、きわめて私的なものか、内容不明のものである。
- 一、写・控・案(下書)等は明らかにできるものは、できるだけ記載し表題につづけて表示した。
- 一、形態は、薄冊のものだけを示し、摺帳、横帳とのみ表示した。
- 一、作成年代、作成者、宛名等で「()」を付したものは、推定して記載したものである。
- 一、本文中にも述べたように谷田氏収集資料は伝来、出所別の家分け整理を基本とし、特別な分類項目は立てなかった。
- 一、岡嶋家資料追補については、昭和四十九年度刊、「資料調査報告第二集」の追補となるため、整理番号は、同報告書の仮目録の番号と継続する。但し、将来統一的な整理分類を実施しなければならぬと考えている。
- 一、本報告書の作成には、宇田川宏、山根文子、福井淳人の三人が当った。資料調査報告書も第五集を刊行することになったが、資料の分類整理には多くの問題があり、なかなか解決できない。したがって、目録も不備な点が多く、仮目録と名づけるばかりではない。諸賢の御批判をいただき、不備な点を補い、未解決の問題を解く手がかりを得たいと考えている。

昭和五十三年三月

昭和五十二年度

資料調査報告書 第五集

— 谷田亀寿氏収集資料・岡嶋家追加資料 —

昭和五十三年三月三十日発行

鳥取県立博物館

〒680 鳥取市東町三丁目二二四

電話 三六八〇四一〜八〇四五